

(P-2) "わ"の会 今年度方針

(P-4) 分科会 今年度方針

(P-13) 新入会員の感想文





### "わ"の会今年度方針

2 新年度を迎えるにあたって

"わ"の会代表 江口 正彦

## 分科会今年度方針

4「寺社をめぐる会」 代表 横山 美智男

5「古文書を読む会」 代表 真田 雅行

7「ふれあいの道歩こう会」 代表 柴崎 幸治

8「懐かしの映画を観る会」 代表 鶴岡 重典

9「浮雲俳句会」 代表 太田 耕蔵

11「パソコンを使いこなす会」代表 熊谷 信雄

### 運営委員新任挨拶

12 運営委員 松崎 寛

12 運営委員 星野 六夫

## 2021年、22年新入会員の感想文

13 齋藤 國男、橋本 啓治、福嶋 恵美、中村 猛次

### 第18回公開歷史講座

16「海軍水道と横浜の水道」

#### 分科会からの便り

22「寺社をめぐる会」活動記録

26「古文書を読む会」学習記録

27「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No40

30「懐かしの映画を観る会」鑑賞録 No42

36「浮雲俳句会」抄録 No60

40「パソコンを使いこなす会」実施報告 12

44 行事予定(6月~8月)

【お願い】 会員の皆さまの寄稿をお待ちしています



# 金沢区生涯学習"わ"の会

ホームベージ:http://kanazawa-wanokai.in.coocan.jp/ メール:yokohama.kanazawa.wanokai@gmail.com

# "わ"の会今年度方針

# 「新年度を迎えるにあたって」 "わ"の会 代表 江口正彦

### 【挨拶】

新年度を迎えますが、昨年は1年間新型コ ロナウイルス対応で学習会は全て横浜市立 大学の施設で開催することになりました。今 年度は5月8日(月)に、新型コロナの感染 症法上の位置付けが、5類に移行し、4年ぶ りにコロナ対応が見直されましたが、横浜市 の感染者数はまだそれなりの数字で推移し ております。従いまして、高齢者の集まりで もある"わ"の会としては、十分に対策をし て活動していきます。学習会の会場について は、昨年能見台地区センター、金沢地区セン ターの優先予約を行いましたが、地区センタ ーの定員がその時点で能見台81名、金沢90 名とのことで、能見台については定員オーバ ーの可能性があるため、横浜市大のカメリア ホールを申込みしました、結果7月と2024 年2月は予約が取れました。その後の5類 ─移行で能見台 100 名定員可能となりまし た。従いまして、5月の総会・学習会と 2023 年2月の公開歴史講座は、カメリアホールで 他の学習会は能見台地区センターと金沢地 区センターで実施することにしました。

各地区センターでは、会場準備、片付けを 会で行いますので会員の皆様のご協力をお 願いします。

### 【2022年度概要】

学習会の会場は地区センター優先予約を しましたが、定員制限とコロナ感染状況で開 催が難しくなることがあるため、会場は全て 横浜市立大学のホール及び教室の確保し、全 ての学習会を無事実施することができまし た。開催日等を大幅に変更せざるを得なかったにもかかわらず、無事実施できましたのは 会員の皆様のおかげであると感謝しています。

また、新入会員は 49名と例年になく多くの方に入会いただきました。そこで、新入会員及び前年度入会会員との懇談会及び懇親会を開催しました。この中から、今後の当会を担う方が多数現れることを願っています。

総会では、会則の改訂をお願いしました。 5月の総会に続いて学習会は例年通り会員 講師の松崎寛氏による【室町・戦国時代の六 浦・金沢】の講演を実施していただきました。

7月は、中世内乱研究会会長の鈴木由美氏。 世間で話題になりました中世内乱研究会会 長鈴木由美氏による【中先代の乱と「鎌倉合 戦」】の講演。

8月は、県立金沢文庫の訪問講座【「鉄道開通150年記念湘南電鉄と県立金沢文庫」

一 楠山永雄コレクション鉄道資料 一 の 展示内容】企画展の内容を山地主任学芸員に 説明いただきました。

9月は、横浜市歴史博物館主任学芸員小林 紀子氏に横浜の大名に絡んで【武州金沢藩米 倉家と幕末維新】の講演を行っていただきま した。

10月の探訪は、大河ドラマ「鎌倉殿の 13人」に因んで【北条義時と 13人の宿老】について NPO 法人鎌倉ガイド協会のガイドにて鎌倉の関係場所寺院の見学及び説明をしていただきました。

10月30日は、会場の関係で11月予定を前倒しして木下聡氏に【下剋上と斎藤道三】

と題して講演をお願いしました。

11月27日は、会場の関係で当初6月に予定をしていた、谷口雄太氏に【北条氏の滅亡と徳川氏の江戸入府】を講演していただきました。

また、2月公開歴史講座は、田中宏巳氏に、 【海軍水道と横浜の水道】の講演をしていた だきました。今回の講演では一般の出席者が 16 名とかつてないほどの参加者を得ること ができました。

## 【2023年度】

今年度も 6 回の学習会と探訪及び公開歴 史講座を計画しております。

学習会等の会場につきましては、5月の総会・学習会と公開歴史講座は横浜市大力メリアホールで、他4回は能見台及び金沢の地区センターでの開催となります。

今年度も公開歴史講座等に多くの一般参加者のご来場を期待しております。

現状では学習会も新型コロナウイルスの 状況を見ながらの活動になりますが、変更・ 中止などが生じた場合はホームページ・"わ" の会通信にてご連絡させていただきます。

## 【学習会】

5月の第1回学習会は、例年通り"わ"の会会員の野々山隆幸氏に横浜市大絡みで【「イトーヨーカドー」「デニーズ」「セブン・イレブン」創業の物語」】、6月は真鍋淳哉氏に昨年の大河ドラマ関連で【源氏将軍の断絶と北条義時・三浦義村】。7月は、久し振りの登場で細川重男氏に【金沢北条氏の歴史】、8月の訪問講座は企画展示につての解説、9月は昨年に続いて谷口雄太氏に【中世の東国と

西国】、10月の探訪は【横須賀の猿島を巡る】を横須賀ガイド協会のガイドで、11月は初登場の和歌の研究者石澤一志氏に【中世の東国と和歌】を、2月の公開歴史講座は、"わ"の会会員の飯塚玲子氏と長島家当主長島輝信氏に【襖の下張りが語る武州金沢一襖から古文書を取る方法、武州金沢藩御用達商人長島家の古文書から】を予定しています。

## 【会員状況】

今年度は、8名の方が新たに入会されました。また、体調不良等で9名の方が退会されました。従いまして、2023年度は総数114名(男性:91名、女性:23名)で活動していきます。(4月末時点)

#### 【運営委員会】

会の事業を推進する運営委員は退任 2 名、 新任 2 名で 2023 年度は 7 名体制です。しかしながら、会員の皆様の期待に応えるためには 7 名では人数不足です。是非いろいろな方の運営委員への参加とご協力をお願いします。また、当会から個別にお願いすることもあるかもしれませんが、その節にはよろしくお願いします。

## 【分科会】

現在の6分科会も、コロナ禍で活動が規制されておられることと思います。その中で「寺社を巡る会」、「古文書を読む会」においては20周年の記念事業が開催されましたことに深く敬意を表します。

昨年度、各分科会におかれましては、新入 会員も多かったと思います。今年度も活発に 活動されることを期待しております。

今年度も、新型コロナウイルス感染症対応をしながらの一年となりそうですが会員の皆様と共 に頑張っていきましょう。

以上

# 今年度の方針 「寺社を巡る会」

代表 横山 美智男

当会は寺社を中心とした旧跡を訪ねる事により、 歴史を学び、頭脳の活性化、老化防止を防ぎ、歩く ことにより体力維持、向上を図る事を目的として活 動しています。

#### 〈2022 年度実績〉

平成 14 年(2002)に発足した当会は令和 3 年度(2021)をもって20年が経過しました。令和 4 年 9 月 9 日(2022)に20周年記念行事として、講演会および祝賀懇親会を実施しました。また20年間の活動記録として、CD「20年の記録」および「20周年集合写真集」を制作し、会員OBの方などに配布しました。

月例探訪は鎌倉地区8回、金沢地区1回の9回 実施しました。鎌倉地区は大河ドラマ「鎌倉殿の13 人」ゆかりの寺社を中心に実施しました。また一部 の寺社では従来行ってきた特別拝観、昇堂、法話も 復活しました。2021 年度のような新型コロナ禍 の影響による例会中止はありませんでしたが、荒天 のため1回中止をしました。

また2月には、13年前から続いた座学「五木寛之・百寺巡礼」DVD鑑賞の記念すべき結願を迎えました。

#### 〈2023年度計画〉

今年度は 10 回の月例探訪と 2 回の座学を予定しています。月例探訪は昨年度の鎌倉地区、金沢地区に加えて横須賀地区を加えた計画としました。鎌倉地区は「足利室町の鎌倉を歩く」をテーマに 4 回の探訪を行います。金沢地区は近辺の探訪を 3 回行います。横須賀地区は「三浦一族関連」の寺社を

中心に 3 回行います。いずれも各地域のガイド協 会の案内により行います、

今年度探訪の特徴として、バス停集合となるケースが半数の 5 回ありますのでご注意ください。その都度案内をいたしますが、ホームページを注視するとともに、時間の余裕をもって行動していただくようお願いします。

座学は2月と8月に実施します。今年度からは新たなシリーズとしてDVD「国宝へようこそ」を鑑賞します。現在、法隆寺、洛中洛外図屏風など4巻が刊行されています。

また今年度は新型コロナ禍の影響で 2020 年度から中止していた特別バス探訪を再開します。行き先は総会で会員の投票により決定します。会員以外の方の参加も歓迎します。

現在(令和5年4月総会時)の会員数は、正会員が男22名、女10名の合計32名、準会員11名、休会者3名の合計46名です。月1回の定例会を実施し、楽しく活動しています。月例の活動記録や写真記録は"わ″の会のホームページに掲載しています。

2023 年度の世話人会は 1 名退任し6 名で運営していきます。会員の高齢化とともに世話人不足も慢性化し、以前のように目の行き届いた運営が難しくなっています。探訪の企画、準備、実施など世話人への参加とご協力をお願いします。

また、これからも多くの仲間と一緒に活動してゆきたいと思い、新入会員を募集しています。当会に参加し、一緒に活動してみませんか。

# 今年度の方針 「古文書を読む会」 代表 真田 雅行

## 1. 概要

活動内容	当会は今年1月から月2回学習を毎月第2木曜日1回に変更しました。 なおメンバーは経験者、初心者などの混成ですが、講師の経験談等を含め、初心者にも興味が持てるよう説明しています。また古文書を初心者でも理解出来るよう訳文をつけています。戦後は古文書を教えなくなったため、最初は取付きにくいかもしれませんが、継続していれば段々わかってきて、少しでもわかってくると面白くなってきます。入会時は初心者が大半ですが、今は興味をもって参加しています。 テキストや参考資料は講師が用意します。
会員数	男:10名 女:3名 合計:13名
活動場所	原則:金沢区役所 区民活動センター(使用不可の時は公会堂等)
活動時間	10:00~12:00
活動頻度	1回/月(第2木曜日)
参加要件	初心者を特に歓迎します
会 費	毎年4月に1,000円。(なお加入時に 1,000円) その後は不足発生時にコピー代
	など実費。
募集人数	数人
連 絡 先	代表 真田 雅行 電話 045-784-4900

### 2. 2022年度活動報告

- 〇 昨年12月に発足20年を迎え、記念誌として「20周年の歩み」を発行しました。 又特別講演として代表による「泥亀新田開発」と「朝比奈切通・峠村・六浦道附近」のスライド による講演を開催しました。これは"わ"の会講演で過去に実施したものの再講演です。
  - (1) 第一学習(第2木曜日)
    - ① 1月~8月 テーマ: 「参勤交代」 福井藩主松平春嶽自身の参勤交代道中記、参勤制度改革、道中でのトラブル、大政奉還に伴う参勤消滅等を学習。
    - ② 9~12月 テーマ:「更級日記」 平安時代、受領菅原孝標の娘が父の任期終了により、任地上総の国から京へ帰国の途中 上総・武蔵・相模・駿河の道中日記。富士山噴火の描写あり。
  - (2) 第二学習(第4木曜日)
    - ①1月~3月 テーマ:「島原の乱」
      - 1637年に起こった圧政とキリスト教弾圧に関する乱の原因、原城籠城、落城の模様など詳細を学習。原城に立籠った4万人玉砕。
      - ②4~12月 テーマ:「将軍徳川吉宗と尾張藩主徳川宗春の角逐」 享保の改革、特に経済政策を巡り対立。政府のデフレ引き締めに伴う全国的停滞に対し、 名古屋の繁栄につき学習。
    - (3) 当面休講

## 3. 2023年度 活動計画

### 学習予定

(1) 1月~12月 テーマ:「尾張藩主徳川慶勝)」(よしかつ) いわゆる「高須三兄弟」の長兄で、尾張藩主慶勝の幕末における活躍の学習です。 彼は尾張藩の分家岐阜の高須藩の出身で、将軍家斉による四代にわたる「押し付け養子」の後に尾張藩主になったが、開明派藩主として江戸幕府の幕引きや明治維新の成立に欠かせない役割を演じた。特に東海道や中山道沿いの諸藩や旗本領主全員を説得して新政府軍の西郷軍の江戸進進撃を実現した功績が特筆される。晩年は尾張藩武士の失業対策として自費で北海道開発に貢献した。実弟に会津藩主松平容保、桑名藩主に松平定敬がいる。

## (2)基礎講座 当面休講

## 4. 学習予定表(1~3月は実施済み)

学習	予定表	
開催日	学習内容	
5月11日 (木)	尾張藩主徳川慶勝	
6月8日 (木)	11	
7月13日 (木)	11	
8月10日 (木)	11	
9月14日 (木)	11	
1 0月1 2日(木 <u>)</u>	11	
11月9日 (木)	11	
1 2月 14 日 (木)	11	

## 今年度の方針 「ふれあいの道歩こう会」

代表 柴崎幸治

2023年(令和5年)は当「ふれあいの道歩こう会」創設20年度目(年度仕切り1月~12月)に入っています。

今年度も創設時から標榜してきました安全で安心な山歩きを、そして絆を大切にチームー体で分科会活動を運営、継続して参ります。本会の当初の目的であった「関東ふれあいの道」を歩くことは、多くの先輩方々により踏破され、それ以降に実施されている独自コースも 10 年が経過しました。踏破後は会員

からのアンケートでコース案を募り、関東周

辺のハイキング・軽登山コース、「関東ふれあいの道」のアンコールコースを花・紅葉の時期等、趣を添え、ベストチャンス・シーズンを考慮してコースを立案し、月例会を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症による影響も余儀なくされこともありました。

また、2020年度の期途中から始めた「関東ふれあいの道神奈川県コース」の踏破は全17コースを歩き終わり、今後は1、2コースを残し未踏破の方々のフォローを行いたいと思っています。

## 【今年度の月例会について】

2023年度は例年にならい8月は夏休みとして休会とし、11回の月例会が計画されています。そしてすべてのコースを神奈川県内に設定しています。もうすでに1月~4月の4例会を終えています。今後も新型コロナウイルス等による規制等がなければ、年度計画に沿い実施していきます。

なお、今年度例会計画としましては、標高差や歩行距離・時間、登山道の状況等から設定された難易度として、「1: やさしい」、「2: ふつう」、「3: きつい」の3段階に分類され

ている月例会の 11 回のうち「1: やさしい」 は 0 回、「2: ふつう」は 9 回、「3: きつい」 は 2 回、計画されています。

また、ほぼ例年実施されていました一泊の 月例会は、今年度も計画しませんでした。

会員数は16名(男性:12名、女性:4名)、 参加率はおおむね90%となっています。

#### 【安心・安全への対応】

今後も安全第一の山歩きを大前提に会の運 営を行っていきます。

## 【2023年度の活動予定】

2022年の総会で承認された『ふれあいの 道歩こう会 2023年 コース計画表』に基づ き実施します。なお、2022年度から独自コ ース回数の表記はやめ、通算回数のみでの表 記とします。

2023年度は、すべてのコース計画・例会を神奈川県内に設定しています。また、2023年度も一泊でのコース設定はありません。

会員数は昨年の 17 名から 1 名減少の 16 名、ビジターとしての登録人数は8名から9 名になりました。 活動に当たっては、天気状況が著しく悪い場合、with コロナの現況、行政からの要請、会自らの判断による自粛等、場合によっての計画延期、中止を考慮し、何といっても安全第一の山歩き、会員・ビジターの健康を考慮しての例会・山行を実施していきます。

# 今年度の方針 「懐かしの映画を観る会」

代表 鶴岡 重典

「懐かしの映画を観る会」は毎月第2と第4の月曜日に、金沢地区センター大会議室で映画の鑑賞会を行っています。2020年度、2021年度はコロナの影響で休会を余儀なくされたこともありましたが、2022年度は3年ぶりに年24回全会の鑑賞会を実施できました。2023年度につきましても、会員の皆様には既にご案内しました24作品をご覧いただく予定です。作品の選定にあたっては

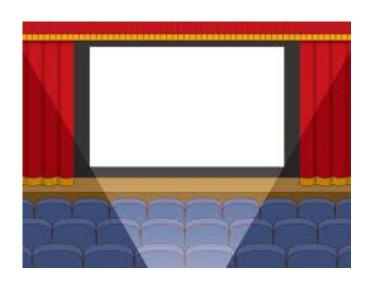
- ① 外国映画と日本映画のバランス
- ② ②懐かしい映画と比較的新しい映画(1960年代までの公開作品を懐かしい映画と規定)のバランス
- ③ ③上映時間

などを考慮しています。

以前は、当日お配りしておりました解説書の事前配布、会員による鑑賞作品のメールを使っての感想、解説もすっかり定着し会員の好評を得ています。また、前年度より「会員の声」の制度を新設し、会を運営する世話人に会員の意見が届きやすいよう工夫しています。

2023年度につきましては、2024年度に 当会が創立20年を迎えることから、記念事業実 施をにらみ、運営の担い手となる世話人を増員し ました(7名から10名に増員)。

また、年会費につきましては、引続き 1000 円をキープします。一人でも多くの方にご入会いただくとともに上質な時間を楽しみたいと念願しておりますのでよろしくお願いします。



# 今年度の方針 「浮雲俳句会」

# 代表 太田 耕蔵

# (1) 概要

活動内容	<ol> <li>北野一清代表(主宰)亡き後、北野イズムを踏襲しながら、俳句作りの楽しさと幸せをお互いに享受できる句会作りを目指す。</li> <li>①伝統俳句を目指す</li> <li>②俳句とは生きた証しの一行詩</li> <li>③作句態度</li> <li>○詩を見つける Oオリジナリティーとリアリティー</li> <li>包会の活性化</li> <li>① 投句、選句表の作成・配信のデジタル化</li> <li>② 主宰は置かない</li> <li>③ 会員全員による合評を取り入れ、会員相互の研鑽を図る</li> <li>④ 毎月1回2時間の句会を開催 (年1回は吟行句会)</li> <li>⑤ 特選句は"わ"の会のホームページ・会報に掲載発表</li> </ol>					
会員数	男:9名 女:4名 合計:13名 ※男子1名病気のため当分の間休会					
活動場所	句会:いきいきセンター・青嵐かなざわ 吟行:金沢区内					
活動時間	10:00~12:00					
活動頻度	1回/月(原則、第4日曜日)					
参加要件	男女を問わず、俳句に興味をお持ちの方でEメールでのやり取りが可能な方					
会費	年会費 1,000 円					
募集人数	2~3名					
連絡先	代表 太田耕蔵 電話 045-783-0278 副代表 小俣悦男 電話 045-782-8147					

## (2) 2022年度 活動報告

1. 北野一清代表(主宰)を亡くして2年になるが、北野イズム即ち「俳句とは有季・定型(五七五音)の詩であり、伝統俳句を目指した、自分の生きた証しの一行詩である」を大切に、俳句作りの楽しさと幸せをお互いに享受できる句会を目指してきた。

#### 2. 句会の活性化策

①投句、選句表の作成・配信のデジタル化により投句締切日を遅らせることができ、当月の句作りに日程の余裕が生まれた。その上、手書きによる誤字・脱字の減少に加えて作業時間の節減と郵送費の節約ができ、会費の大幅な削減に繋がっている。

なお、7月旬会はオミクロン株の感染爆発からの自衛のため「メール旬会」に切り替えて実施したが、 デジタル化のお陰で旬会を中止することなく実施できた。

- ② 句会は主宰を置かないで会員の中から選者を選任し、選者による秀句3句の発表と選評を取り入れ、 句会の幅の広がりを目指したが、選者の体調不良で今年度は中止している。
- ③句会の中に会員全員による合評を取り入れ、会員相互の研鑽による俳句のレベル向上を図ってきたが有効に機能しつつある。
- ④毎月1回2時間の句会(当季雑詠3句、月毎の兼題1句の投句)を青嵐かなざわ(会場費:無料)で開催した。但し、コロナ対策のため1回はメール句会に変更した。10月は金沢動物園での吟行句会を実施したが、楽しい句会となった。
- ⑤特選句は"わ"の会のホームページ・会報に掲載発表し、会員の句作りの励みとしている。
- ⑥ "わ"の会会員2名が新しく入会し、句会に刺激を与えている。

## (3) 2023 年度 活動計画

主宰を置かない体制での新しい句会作りに2年間挑戦してきたが、形も定着し順調に活動を続けているので、これを継続し発展させたい。

- ①毎月1回2時間の句会(会場:青嵐かなざわ)を開催する。但し、10月は吟行句会とする。
- ②当季雑詠3句、月毎の兼題1句を投句し、会員による選句・披講・選評を行なう。
- ③句会での会員全員による合評の更なる充実を模索する。
- ④ 特選句を"わ"の会のホームページ・会報に掲載発表し、句作りの励みとする。
- ⑤ 会員15名程度を維持したく、2~3名の会員募集をする。

# 今年度の方針 「パソコンを使いこなす会」 代表 熊谷信雄

下記の概要にて2023年度の活動を進めます。

## 概要

	<設立趣旨>
	当分科会では、パソコンでお困りの会員、パソコンをもっと上手に使いたい会員のために ノートパソコンを持ち寄って、みんなで問題点を解決する事を目的として活動を進めて行き
	ます
	<設立> 2008年(平成20年)2月 ※今年度で15年経過
	<2023 年度取り組み> ICT(情報通信技術)を活用して、心豊かな老後を!
  活動内容	パソコンやインターネットを活用して、コミュニケーションや情報収集をすることができ
	ます。当会は初心者でも分かるよう充分な説明をして講座を進めます。
	講座内容 (年間 24 講座)
	①スマホ講座 7回 携帯電話のアプリ・使い方紹介
	②インターネット講座 6回 Google 写真・チャット・地図・ファイル転送・アカウント等
	③ワード講座 6回 文章作成ソフトワードの使い方
	④エクセル講座 4回 表計算ソフトエクセルの使い方
	⑤ウインドウズ講座 1 回 エクスプローラーについて
会 員 数	男性:14名 女性:5名 合計:19名
活動場所	八景コミュニテイーハウス、晴嵐かなざわ
活動時間	9:30~12:00
活動頻度	2回/月 、 原則として第2、第3火曜日
<del>公</del> 加西 <i>此</i>	ノートパソコンを持参下さい
参加要件	「Zoom(ズーム)」を利用したオンライン参加も可能です
会 費	入会時 1,000 円 、 年 1,000 円 (不足時に追加徴収あり)
講師	林 洋 、 高橋敏英 、 水野昭枝 、 熊谷信雄 (何れも会員)
連絡先	代表 熊谷 信雄   E-Mail nskj3316@yahoo.co.jp

## 運営委員新任挨拶

# 運営委員 新任挨拶

松﨑

会社員でいる間は、地元の事はほとんど知りませんでした。 退職後、金沢の歴史に関心を持つようになると、室町時代のことがよくわからない、と思うようになりました。 そういったなか、 "わ" の会の講演の案内を見て、この時代に関する魅力的な演題がならんでいることに気づき、6年前に入会しました。当初は分科会にも入らず、講演を聴くことだけをもっぱら享受しておりました。しかし、だんだん恩恵を受けるばかりではなく、皆様のお役に立つことも必要ではないかと思うようになりました。2年前に「寺社を巡る会」に入会して、主体的に活動するようになりました。今回、運営委員にお話をいただき、お引き受けしました。微力ながら、力を尽くしますので、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

# 運営委員 新任挨拶

星野 六夫

"わ"の会には丁度一年前に入会、6月からは「懐かしの映画を観る会」にも通うようになり楽しんでいます。雪国新潟で生まれ培った忍耐力を頼りに、今思えばブラックな仕事環境でのサラリーマン時代を生き抜きました。大学入学で京浜地域に住み始め、1985年能見台地区に居を定めました。それからも国内外を長期間渡り歩き、行く先々でその歴史を少しずつかじりながら、土地の人々との交流を楽しんできました。高齢者となった今は、「子供と年寄りは"元気で"遊ぶのが仕事」と言訳しながら、刺激を求めて忙しく遊び回っています。大中小3つの合唱団に所属し、昨年は5回ステージに立ちました。年とっても頑張ればまだ上達可能と信じる合唱や囲碁にはいそいそと足を運び、どう足掻いても成果が右下がりになってしまったゴルフやジム、語学講座等にも、老化防止の為と心に鞭打ちながら通っています。運営委員がきちんと務まるのか不安ではありますが、"わ"の会でこれから受ける刺激を楽しみにして努めてまいります。

# "わ"の会に入会して 齋藤 國男

会報誌、毎回じっくりと隅々まで読ませていただいております。内容の濃さに感心すると同時に読み進めるにつけ多岐に亘る多くの新発見に自らの諸々の知識のなさを恥じています。

金沢のこの地に、富岡のこの地に生を受け、多分この地に骨を埋めるであろう者として、和、輪、話、倭の会、歩こう会を通じて教わる広範囲の郷土史、文化に興味が無い訳がありません。大いにあります。しかし学習会しかり、歩こう会しかり、私の日常とは異なる途轍もなく高級な「別世界」についていけるのか、右往左往の二年間でした。

会の訴える生涯学習とは私の見聞の虎の巻として会報誌等を教則本に、減りつつある脳細胞の吸収 サークルと考えます。よって足繁く、会に通うのは自らの成長は勿論のこと、故きを温ねあれもこれ も未来の子供達に語り継ぐのが老人の仕事と常々思います。

運営委員、分科会リーダーの皆様の作業、頭の下がる思いです。

拙い「感想」ならぬ「完走」をめざし、お付き合いをさせていただきます。

# "わ"の会に入会して 橋本 啓治

2019年に川崎市から金沢区に転居してきました。金沢区には横浜市の他の区に比べて古い寺社が多く在り、歴史的な事実を以前から知りたいと考えていた処、区役所の掲示物で歴史講座を主催している"わ"の会を知り入会しました。初めて参加した会の印象は 100 人以上の大人数の会員数にも係わらず、配布資料・連絡網、開催場所などの運営面がしっかりしているので驚きました。講師陣も現役の専門家が講演するために大学の公開講座を受講している様に感じました。経験豊かな会員様が多い様ですが、月 1 回の歴史講座への参加だけでは会を十分に理解出来ず、交流を創るのは難しいと感じていました。

昨年は大河ドラマ鎌倉殿の 13人の影響もあり"わ"の会の歴史講座、金沢・鎌倉のガイドボランティア主催のイベントにも併行して参加して金沢区の歴史を深く知ることが出来、また中世日本の歴史にも興味が広がり関連する書籍を読む等、地元の魅力が増す様になりました。7月に行われた 21&22 年の合同新会員歓迎会で"わ"の会の運営方針・分科会の説明、懇親会等で会の多様性が分かり、歴史とは関係ありませんが"懐かしの映画を観る会"に入会した次第です。

"懐かしの映画を観る会"は月2回の映画上映が有り、毎回40名前後の方が2時間前後の洋画・邦画を鑑賞しています。代表の鶴岡さんが作品のあらすじ・解説書の資料を準備されて事前に会員へメールで配布されますが、淀川長治調の内容で頭が下がります。鑑賞後に任意参加ですが近くの喫茶店で感想会が開かれ、映画に詳しい方の裏話が聞けたり、世間話で盛り上がったりして楽しいひと時を過ごします。

退職すると地域との係わりあいを新たに開拓することは難しいと感じていましたので、定期的に交流 を持てる処が出来て大事にしていきたいと思っています。

# "わ"の会に感謝! 福嶋 恵美

私は、2021年度に「"わ"の会」に入会させていただきました。きっかけは、定年の年に感染してしまったコロナの予後が思わしくなく、長年続けてきた仕事を退職してしまったことからです。 日々時間に追われる生活から一転、有り余る程の時間を得て、何か学んでみたいなあと思った時に出会ったのが「"わ"の会」でした。毎月の歴史講座で、講師の先生方から様々な時代やジャンルのお話を伺う中で、総じて思ったことは、歴史を学び、考えていく時に多くの視点からの資料や文書が大切なのだなあということです。講義の中でそれらを解説いただく楽しさと共に、現代の私たちも後世に向けて政治経済、文化など様々な資料を大切に保存し残していかなくてはいけないな…と思います。また、昔から権力を持つ者は、大儀名分を上手く使って人々を動かしてきたのだなあということです。何かにすぐ踊らされない姿勢や疑問を持つこと、よく考えることなど当たり前のことですが、そうしたことが大切なことを改めて思いました。今後は、戦国時代、近現代史についての講義を受けてみたいです。

そして、「パソコンを使いこなす会」にも入会させていただきました。パソコンの経験は、書式の決まった書類に記入したり、ワードでプリント類や提案書類を作成したりする程度でした。会の皆さんについていけるか心配でしたが、まずZOOM機能の使い方を教えていただき、オンラインでの学習ができるようになりました。☆エクセルでのグラフ作成や、関数を使うこと ☆Pファイル編集 ☆スマホとパソコンを繋いでの動画の編集 ☆スマホでのユーチューブの作成など以前の私には、思いもよらなかったことを楽しく体験しています。パソコン等の機器類は、手順を踏んで一つ一つ作業していけば色々なことができるなーと実感しています。さらにパソコンに親しんで、できることを増やしていきたいと思っています。会では、お元気で聡明な先輩方に囲まれ、私もこうありたいなあとお手本にしています。もっと多くの方にパソコンを使いこなす会に入会してほしいです。私の世界を広げてくれた「"わ"の会」に感謝しています。

# "わ"の会入会一年を経過して 中村 猛次

まだ地域の皆さんとの関わりに物足りなさを感じていた私は、ある方から"わ"の会の存在を知りホームページを拝見させていただきました。その時の感想は「〇〇学習会」・会員の人数は「定員制」などとあり、私が考えていたものとは違い、些か硬直化した傲慢な組織運営がされている会ではないかと感じていました。暫くしてから当時入会していた会にも"わ"の会会員の方が多くいらっしゃる事を知り、友人と共に入会させていただくことにいたしました。

7月9日(土)に開催頂いた新入会員懇談会、懇親会に参加させていただき、各分科会責任者の方々から活動状況についてご説明をいただきました。

私は大阪での約20年間の会社勤務のうち、京都市伏見区に8年間居住していました。当時としては京都各地の散策を多くしたつもりでしたが、今ではもう少ししていれば良かったと思っています。神社仏閣に特別興味があった訳ではありませんが、地元の事をよく知りたいと、また京都で経験した思いもあって「寺社を巡る会」に入会させていただきました。

9月1日(木)開催の第4回から参加させていただきました。以降は日程と体調の都合もあり、あまり参加できませんでしたが、新年度からは日程と体調を整え積極的に参加させていただきたいと思っています。

また、知人から「浮雲俳句会」への入会を勧められ入会いたしました。近所の数名の方と名ばかりですが句会を開催参加していましたが、本格的な句会に参加する自信はありませんでした。それでも6月26日(日)開催の句会に見学参加ということで出席させていただきました。皆さんが私の知らない言葉や難しい単語などを使い、嬉々としてお話しされる状況に圧倒されました。

次回の句会から参加させていただき、12月25日(日)の句会では私の作品が「特選句」として選ばれました。各人が提出(投句)した作品を、各人が好きな作品を選び(選句)投票の様な形で上位数句を「特選句」とするものです。たまたま「特選句」には選ばれましたが、まだまだ皆さんの足元にも及んでいませんので、少しでも上手になり更に楽しく句会に参加できるようにしたいと思っています。

まだ新参者で会のことについて全てが理解できた訳ではありませんが、入会前に感じていた"わ"の会の印象とは違い、真摯に取り組む方々による自発的・組織的な活動が、伝統的に行われている素晴らしい会と思っています。

現在は学習会の参加と共に、「寺社を巡る会」・「浮雲俳句会」で参加活動させていただいていますが、 それを深めるとともに、他の分野の活動へも広げたいと思いますので、皆様よろしくお願いいたします。

## 公開歷史講座

# 2022 年度 公開歴史講座 『海軍(軍港)水道と横・横の水道』 会報編集委員 兒玉 國宏

開催日:2023年2月12日(日) 13:30~16:30

会場:横浜市立大学 カメリアホール

講師:防衛大学校 名誉教授 田中 宏巳 氏

#### はじめに

神奈川県は小田原のみ、水利の便が良く、井戸依存の地域が大半、小湧水のみでは市街地形成不可。列強来航・明治維新による地政学的要請、特に横浜、横須賀は首都至近にあり、横浜は開国、横須賀は軍事的価値の劇的変化により、人口が集中していき、都市が形成され、膨らんでいき、水確保が絶対条件となった。

## 【横須賀の軍港水道】

- (1)国内最大級の海軍工廠(造兵・造機・造船) の生産活動で、大量の工業用水必要。
- (2) 海軍基地として、飲料水等の給水。艦艇清 浄→当初は楠ヶ浦の湧水で対処。
- (3)横須賀海軍水道の建設・・・造船・造兵→ 水需要増大、楠ヶ浦外に水源地模索。
- ①走水水系:ヴェルニー指導で建設。水質良し。 走水湧水<sup>~</sup>造船所間約8km。7mの高低差。日 清戦争迄。
- ②半原水系:中津川の流水を愛川村半原で取水、 半原~逸見浄水場間53km。大正7~8年頃。
- ③有馬水系:昭和 14 年頃、有馬村社家で相模川 伏流水取水、社家<sup>2</sup>逸見配水池間 37 k m。
  - (4) 1945 年8月の敗戦によって、市内の海軍 水道施設は横須賀市に、その他は神奈川県営 水道に移管された。海軍から移管された水道 施設は、横須賀市をはじめとする周辺市町村

の戦後の復興と発展にとって、新たなる社会 資本の投資を不要とした意味で、又新たな人 口流入を可能にしたという意味でも、その役 割は決して小さくなかった。

#### 【横浜の水道】

- (1)外国人居留地・日本人居住地の形成→給水の開港地責任、日本初の水道。
  - パーマー新水道計画 (M16); 相模川・道志 川合流点三ケ木 (三井) で取水。
- (2) 道志川に集力した水道事業の展開。
- ①第 1 回拡張工事(M31.6~34.12);30 万人、 導水路增設•複管化。

第1区(青山~大島間)、第2区(大島~川井)、第3区(川井~野毛)

- 道志川から中津川に注目、海軍と対立し取りやめ。
- ②第2回拡張工事(M43.8~T4.3)80万人、

道志川系改良に注力。

鮑子取入所、青山沈殿池、城山水管橋、西谷浄 水場設置。

- ③第3回拡張工事;(82)万人、道志川の徹底的利用。
  - (3)戦中・戦後;相模ダム建設→城山ダム建設。
  - (4) 海軍解体し相模川以南展開:三保ダム(S54), 宮ケ瀬ダム(H13)

寒川取水堰・小雀浄水場、鶴ヶ峰浄水場の建設、諸施設の拡張。

海軍水道施設を継承、丹沢山地水資源の徹底的活用、自給自足実現。

#### 【横須賀の水道】

- (1)横浜~横須賀周囲、きわめて悪い水利。船 渠(ドック)建設・掘り出し土砂で埋め立て →横須賀市街地形成、水源地なし。海軍水道 より分水、海軍水道の貸与・譲渡で一時しの ぎ。人口の四分の一が海軍関係者。
- (2) 市営水道の推移
- ①横須賀市、M38 海軍より残置管払下げ→走水 に新たな貯水池建設。

走水→伊勢町→若松・大滝・小川の海面埋立地 に配水。

永島庄兵衛、石渡担豊の田戸埋め立て・宅地造成 (M39) 計画。T5.安田保全社が埋立権取得→T10.市に給水願提出。

②水の確保が発展の鍵

T2 走水水系施設全面貸与、半原水系逸見浄水 場の余水分与。

T5 計画概要;計画給水人口 10 万人、1 日計 画給水量 8,300 ㎡

T7~9 毎年 180 人以上の伝染病発生→水道整備の一大要因。

T10 全工事終了→田浦町地内海軍関係機関へ 給水。市内伝染病減少。

T12 関東大震災で半原水系壊滅、給水途絶→ 浄水場の残留水配水。

T15「横須賀市水道拡張計画書」提出→給水体制の根本的見直し。海軍の後塵の位置転換は無理、根本的改革困難。

③昭和初期における人口増加に伴う給水需要の 増加→海軍水道の限界。

昭和 4 年頃から水不足…夏場の高台、管末で 断・減水現象

S10 横浜市から水船で海上輸送、節水宣伝、 時間給水の実施。

- ④県営水道期成同盟会結成(S4)
  - ・第 1 期拡張工事(S10~11)市内全域へ配水 幹線整備を目標。

田浦配水池, 緒明山配水池、中里配水池の建 設。

第2期拡張工事(S11~14に中途中止) 幹線・中里高区配水池揚水工事、日中戦争で 資材不足。

海軍側需要増大→繰り返す分水請求。

- 第 3 期拡張工事((S19)
- ⑤戦後における横須賀市水道事業

戸塚鎮守府長官、市長に海軍水道管理委託→ S20 管理引継ぎ。

連合軍進駐と施設接収→県・市町村払下げ要求 →S29 市に無償譲渡。県営水道との協力関係 を高めつつ海軍水道を継承し、自立維持。有馬 水系・寒川取水堰・飯泉取水堰で80%確保。

#### おわりに

海軍(軍港)、横須賀、横浜は水源地他をめぐり、時に競合しながらも時代の要請に対応していく。この競争が、神奈川県をして断水、節水のない県へと発展させた歴史が学べました。

## 2022 年度公開歴史講座学習会アンケート集計

"わ"の会運営委員会(2023.02.12 晴れ)

#### 「海軍水道と横羽の水道」一海軍(軍港)水道と横・横の水道=

講師:田中 宏巳氏

		一般会員	委員	計(出席率%)	ビジター	合計	アンケート(提出率%)
出席者	男	47	7	54(58.7)	7	61	
	女	10	0	10(41.7)	9	19	(71.2)
Ē-	†	57	7	64(55.2)	16	80	52/73

#### ①講演内容評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. つまらなかった	チェック無し
22名	24名	4名	2名	0名

- 海軍(軍港)水道と横須賀市水道の関係、そして横浜市水道との関係、及び現地をめぐるそれぞれの歴史がよく 判りました。横須賀市水道の苦悩がよく判りました。
- 当たり前のように使用している水道がこのような歴史があったことに気付かされた。
- ・横浜、横須賀市の水道事情が初めて分った、新しい切り口でおもしろかった。横須賀市の人口減少を初めて 知った。
- ・水のことは深く考えたことがなかったが、水の歴史が分って大変勉強になりおもしろかった。丹沢をたいせつにして、水を大切に使います。有難うございます。
- 知らなかったことが多く、たいへんよかった。
- ・水道の歴史、知らなかった事ばかりであった。横浜→道志川程度の知識 先人の努力に敬意 判り易いお話しと 豊富な情報。
- わかりやすい。海軍と横浜市・神奈川県の水道事情が良くわかった。
- 海軍 横須賀市が水にこれほど苦労してきたとは知らなかった。明治時代日本は製鉄に関心が不十分とは、今日 のお話で良くわかりました。
- ユーモアをまじえたわかりやすい説明に水の道をよく知ることが出来ました。
- ・ 水道事情が分りました。
- 大変興味深く拝聴しました。
- ・横須賀の海軍水道について、今まで考えたことがなかったが、軍港の機能発揮のために水がいかに大切だったか、 供給に苦労があったかが良く分った。又、横須賀市の水不足事情が良く理解出来た。
- 横須賀の水道が大変だったようだ。 講座が聴き易かった。 勉強になった。
- 若い頃の勤務地が横須賀だったので、よく家族で海水浴に行った思い出がありました。その時、走水取水地(国道沿いの)がありよく行って水のおいしさを味わった。なつかしい思い出ありがとうございました。
- 普段のテーマと違う角度から「水道」についての話を興味深く聞かせて頂きました。
- 身近な水道についてよく分った。

- ・話し方がとてもわかりやすく、さすが!と思いました。見識の高さに感じ入ります。
- 判り易かった。内容豊富だった。
- ゆったり平易な語り口、理解が進んだ。
- ・街の発展にとって一番大切なインフラの一つである水道の問題について海軍と横浜・神奈川とのせめぎ合いの歴 史も含めて紹介いただき、今後歴史を学ぶ上でも重要な視点を話しいただけた事に感謝申し上げます。
- ・走水、半原、有馬、道志、多摩川の「化学的水質は」どうだったのでしょうか?もっとも工業用水「軍」を沸騰させて利用する昔の私家のような事はなかったのでしょう。昔々ヒバチを使い飲料とする沸かした大きなヤカンのした側に附着した半黄色の、石状、砂状の固形物を鋭利な金具、たとえば大工道具の"キリの"刃先でかき落とすのが、小学生高学年の私の仕事でした。近代水道のありがたき、風呂、台所、WC(水洗)etc やっと私は18 才のことでした。工廠用(工業用水)及び住宅用水の確保の裏話に驚かされました。ありがとうございました。
- ・横須賀市の水事情を話されている中で亡き母を思い出しました。生前母は海軍に勤務していた父と新婚時代を過ごしたのが田浦の丘の上の台地だったと言っていました。"カッカッカッ" と夕方兵隊さん達の靴音がすると「あぁ帰ってくるなぁ」と思ったと話していました。今日の話で"高台の台地"とはこの事なんですネ\_
- M14→S20→現在までの水道事情が判りました。
- これまで知らなかった海軍の水利用を知ることができて良かった。
- 他では聞けない話、資料と説明が一致しなかったのが残念
- 海軍と水道の関係が分かりやすく解説されていた。
- 現在の安定した水事情の流れが (海軍~ ~ 横浜、横須賀~県営)
- 一番大事な水を問題にしている視点
- ・水を得る為にいろいろな事があったこと、いい水に恵まれ先人に感謝です。
- 現在、水は当たり前に使用しているが海軍と水道の関係が当時の必要性とおもわくがあって、今に継ながって来 たのが良くわかりました。横須賀生まれで走水湧水は知っていたが以上の過程で分かりました。
- 水資源から都市の営み、発展を考える。新鮮な視線を与えられた気がした。
- この地域の水事情と対処方法については概略理解した。但し、講師の説明がレジメのどの部分なのかが分からなかったので、わかりにくい内容であった。
- ・半原からの海軍水道のことは聞いていたが、海軍のインフラ整備として水道事業のこと分かった。(神奈川の水道は海軍のおかげ?)
- 先人の水量確保のための計画、努力の結果、横浜は断水 節水のない生活圏が確保出来た背景、良く理解出来ました。但し水道代が少し高いのが玉にキズ !
- ・軍と水道開発の関連は、今まで全く知らなかったことです。水源の確保、開発などいろいろ大変だったのだなあと思いました。先生のお話にもありましたが、水を大切にしなくてはと思いました。
- 通常普通に使っている水道にこのような大変な歴史があったことは知りませんでした。海軍と行政とのかかわりの話が興味深かったです。丹沢の自然に感謝 自然の保全という結論に感銘を受けました。
- 水道に関する細かい説明でしたので良く分かりました。
- いかに水利計画実行が重要か多少理解出来ました。
- ・ 水道は深く土中深く不可視で、普段考えもしないコトでしたが古くからあるとてもスケールの大きな装置であ り、テーマであることが認識でき、有意義でありました。
- ・住んでいる街の水道がどのように作られたか考える等は、なかったが、今日の講座で知ることが出来良かった。あたりまえのように水を使っているが、整備されるまでには、苦難があったと思うと大切に水を使わなければと

いう思いになった。

- 声が小さいせいかききとりにくかった。
- レジメにそってお話してほしかったです。どこをお話しているのかちょっとわかりにくかったかも
- 話は面白いがテキストとの関連が今一つでフォロー出来なかった。
- レジュメに記載されている事項とは関係のない話が多く理解しづらかった。
  - お話と資料がむすびつかず よく判らなかった。

#### ②田中宏巳講師に希望する講演テーマについて

- 下水道についてもご講演お願いします。
- 日本防衛の為まず一般市民がかまえる事
- ・ 著書の「真相・中国の南洋進出と太平洋戦争」を基にした講演をしていただきたい。
- 著書にある「真相・中国の南洋進出と太平洋戦争」の真相が知りたいです。(本を読めば判る話ではなさそうなので)
- 今後、50~100年先の神奈川県の水道事情は!
- 第2次世界戦争について
- ・ 今後の日本防衛について
- ・近現代史のテーマ
- 山本五十六
- 御自身の著書についてのお話しを期待します。
- ご専門が何か存じ上げないので・・・・。何かに特化したお話しが良いです。今回のような。

#### ③学習会運営評価

A. たいへん良かった	B. 良かった	C. 普通	D. 良くなかった
20名	25名	3名	0名

※チェック無し:4名

- 手際よかったですね
- 午後の講座は時間的にゆとりがあり良かった。
- わの会の会員の案内がしんせつでありがたかった。
- ・スムーズな運営で、ご苦労様です。
- ・コロナ感染対策。
- ・身近なテーマだったので興味深かった。
- ひろい会場で、講師の先生のお話も良く聞こえて快適です。寒い中会場入り口に立ってくださる方には感謝しております。
- 運営はテキパキとしており大変御苦労されている事が伺えた。
- 会員以外の人にも講義を受ける機会を作っていただき感謝申し上げます。
- 本当にいつも気持ちよく参加させて頂いています。
- いつもありがとうございます。

- いつもながら大変良かったと思います。
- いつもすばらしい運営に感心しています。有難うございます。
- 二部に時間を分けていただいたのでリフィレッシュすることができて良かった。
- ・非常に興味深いテーマを設定いただいた。
- ・会場設営も良く コロナ禍での講義開催に感謝します。

### ④"わ"の会について、何でもお書きください。

- ・ 小栗上野介につて講話をお願いします。
- お世話になります。
- 来年度よりよろしくお願いします。
- いつも学習の機会を頂き有難うございます。
- 優

#### 運営委員代表の意見・感想

今回は、「海軍水道と横浜の水道」一海軍(軍港)水道と横・横の水道 について講演していただきました。横須賀(海軍)と水の必要性と横浜開港と発展における横浜の水事情及び水源の確保についての講演でした。

海軍は自前でいろいろなものを生産する必要があり、民間より大きなメーカーでもあった。海軍工廠は造兵(兵器)、造船、造機(エンジン、ポンプ・・・・)で、鋼鉄生産から船舶建造などで大量の真水が、海軍基地は艦艇・艦隊に飲料水等の給水そしてそれに拘わる人員の生活用水など多くの水が必要となり、その水をどのように確保してきたかなど、海軍があると如何に水を確保する必要があるということが理解出来ました。

水源確保において軍と横浜とのしのぎ合いが現在の横須賀、横浜そして神奈川において水不足が起こらないことの基であることが良く分かりました。その水源地である丹沢山塊の大事さを再認識することが出来ました。

最後に、普段無意識に使用している水道について知ることが出来たこと、人口と水量のバランスが大事であることなどを認識出来たことに感謝です。

このような切り口でのお話しはさすが田中先生だと思いました。

"わ"の会代表 江口正彦

# 『寺社を巡る会』活動記録

## 令和4年度第9回~第11回

## 令和4年度

第9回 『ゆったりと鎌倉・再発見』PART II ~新春の鎌倉、由比若宮から二の鳥居へ~

開催日:令和5年1月5日(木)

コース:鎌倉駅西口時計台広場(集合)~一の鳥居~由比若宮(元八幡)~八雲

神社~本覚寺~ 妙隆寺~二の鳥居~鎌倉

参加者:27名

今年最初の探訪は、新春の鎌倉を鶴岡八幡宮の「一の鳥居から二の鳥居」を巡るコースであった。混雑を避ける為、人の流れと反対に巡ったおかげでゆっくりと楽しむ事が出来た。

まず御成通りを歩き、そこから若宮大路に出て、歩道橋近くの「浜の大鳥居跡」を見学する。 最初の「一の鳥居」は 1180 年源頼朝が創建し、当初は現在の「一の鳥居」よりも鶴岡八幡宮よりにあったと言われる。1990 年に発見されたこの柱痕は北条氏康によって造立されたとされ、「浜の大鳥居」と呼ばれていたそうだ。由比ヶ浜へ下ると現在の「一の鳥居」が見えてくる。高さは約 8.5M。徳川家綱によって1668 年寄進された石造明神鳥居である。鳥居を囲うように道路の中央に設けられたスペースに入ると、そこから鶴岡八幡宮をはっきりと望むことが出来た。海岸の砂丘地帯に建てられており、由比ヶ浜から八幡宮まで一直線に続く「頼朝が幕府の基盤とした参道若宮大路」を実感することが出来た。



(一の鳥居)

次に、由比若宮(元八幡)へ向かう。ここは、源頼義が源氏の守り神である石清水八幡宮を勧請

し、その子義家が社殿の修理を行っている。頼朝が幕府を開いた時に社殿を移してから、「元八幡」と呼ばれるが、鎌倉における源氏の歴史は頼朝以前に始まっていた事を学んだ。通常は閑散としているのだが、参拝客が6~7名おり社殿も塗り直され、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の影響かと思われた。



(由比若宮)

その後大町大路を通るが、「町屋阯」碑辺りは、 中世の商業の中心地で大変賑わっていたという説明があった。大町の八雲神社でも、古からの源氏の繋がりを再認識する。源義家の弟新羅三郎義光 (源義光)が京都祇園社の祭神をここに移して祀ったという。鎌倉最古の厄除け神社であり、探訪の翌日1月6日には湯立神楽が行われ新年の豊作や大漁を祈るという。

新年の鎌倉は七福神巡りでも賑わうが、恵比寿神を祀る本覚寺で我々も福を祈願した。頼朝が幕府の裏鬼門の方向の鎮守として建てた夷堂で、日蓮や日出上人もこの夷堂に住んだと伝わる。身延山久遠寺にあった日蓮の遺骨が分骨されており、

「東身延」とも呼ばれる。1月10日には商売繁盛を願う本えびすが行われるそうで、コロナからの経済回復を願う人々で溢れかえりそうな予感がする。



(本覚寺夷堂)

最後に、小町大路にある妙隆寺を訪ねた。鎌倉 幕府の有力御家人千葉常胤の子孫の別邸跡と伝え られる。この辺りは鎌倉時代日蓮説法地跡とされ、ここ妙隆寺は日蓮宗の寺で開山は日英上人である。七福神のうちの寿老人を祀り、境内の小さなお堂に鎮座されている。安全、健康、長寿の神と言われており、我々「寺社を巡る会」の参加者にもそのご利益がいただける事を祈った。

混み合う段葛を横目に、鎌倉駅に到着し新年の 探訪を無事終えた。

コロナ禍の規制が無くなり、心なしか解放感とともに探訪をすることが出来た。(ガイド側では一人がコロナ陽性となり3名でのガイドとなったが。)

(川口寿記)

## 第10回 「五木寛之·百寺巡礼」DVD鑑賞

開催日:令和5年2月10日(金) 開催場所:金沢公会堂多目的室

参加者:31名

DVD鑑賞前に配布した「20周年記念集合写 真集」の写真をプロジェクターで映し出し、過去 の出来事を懐かしく振り返った。これをもって記 念行事を終了します。

#### DVD鑑賞「五木寬之·百寺巡礼」

【永明寺】 島根県鹿足郡津和野町 曹洞宗 創建: 応永 27(1420)年

歴代津和野藩主吉見、坂崎、亀井の菩提寺で島根県最古の別格大禅院である。

水戸光圀公の師、心越禅師の揮毫と伝えられる 扁額が掲げられたケヤキの棟門づくりの山門は、 津和野城の総門を移したと言われる。現存する最 も古い建物は江戸時代に建てられた茅葺きの本堂 である。本尊は釈迦如来坐像で両側に普賢菩薩、 文殊菩薩が安置されている。本堂裏には一代限り で途絶えた悲運の武将として知られる坂崎出羽守 の墓がある。山門そばの墓地には津和野出身の文 豪森鷗外の墓がある。軍医総監で小説家でもあっ た森鴎外の遺言どおり"森林太郎墓"とだけ刻まれている。

【富貴寺】 大分県豊後高田市 天台宗 創建:伝養者 2(718)年

富貴寺のある国東半島は朝鮮や中国の文化が流入し神と仏教が巧みに合体していった神仏習合の歴史を感じさせる。宇佐八幡宮の境内にあった弥勒寺の僧侶が多くの寺院を建立した。その中の"蕗谷"にできた坊のうち唯一残ったのが富貴寺である。大分県では数少ない国宝建造物の富貴寺大塔と呼ばれる阿弥陀堂は、一間四面で宝形造り九州最古で平安時代作と伝えられる。本尊は木造阿弥陀坐像、両脇には白山神社に祀られていたと言う白山妙理大権現、観世音菩薩が侍しており神前読経が行われている。大分県は全国に点在する磨崖仏の約8割がある。最も有名なものは7~8メートルある熊野磨崖仏で、不動明王と大日如来像が彫られている。

【羅漢寺】 大分県中津市 曹洞宗 創建:大化元

#### (645)年

日本三大五百羅漢の一つである。岩山をくり抜いて作られた「青の洞門」と呼ばれる道は菊池寛の「恩讐の彼方へ」で知られ、江戸時代に禅海和尚が30年をかけて開いた道で羅漢寺に向かう人の大きな助けとなった。大化元(645)年にインドの僧、法道仙人が修行地と定めた事が寺のはじまりである。洞穴を利用した無漏窟は山岳修行の場で中には500本の羅漢像、3770体の石仏があり願い事を記したしゃもじが奉納されている。南北朝時代諸国をさすらった禅僧と、中国から来寺した臨済宗祖円龕昭覚が力合わせ、一年余りで五百羅漢像を延元4(1339)年に造立し

たとされている。本堂は岩窟をそのまま取り込んで建っている。足利義満命により本堂は建立されたが、焼失し昭和 44 (1969) 年に再建された。

羅漢寺が百寺巡礼の最後 100 番目の寺、百寺 巡礼 DVD 鑑賞の始まりは平成 22 年 (2010)8 月奈良 室生寺、13 年間で旅の結願 となった。

冷たい雨が降る中ではあったが、多くの参加者 があった。

(熊谷 滋子 記)

## 第11回 別荘文化発祥の地・富岡と宮司の講話

開催日:令和5年3月2日(木)

コース:京急富岡駅(集合)~旧川合玉堂別邸跡(二松庵)庭園見学~井上馨別

荘跡~下の浜公園 ~伊藤博文仮寓跡~海水浴発祥の地碑・記念碑~富

岡八幡宮(佐野宮司の講話(解散))

参加者:31名

最初に訪れたのは「旧川合玉堂別邸」である。 建物と庭園は大正 6(1917) 年に造られたもの で、105 年も過ぎた。平成7年に横浜市の文化 財として保存されていた。庭園の大きさは約 8,000 ㎡ある。回遊庭園をもち、その庭に古い 黒松が2本あったため「二松庵」と名付けられ た。玉堂はここを避暑・避寒の地として滞在し、 付近をスケッチしながら多くの画材を得て幾つか の名画を残した(紅白梅、長閑など)しかし、主屋 は平成25(2013)年10月16日早朝全焼して しまい、大切な文化財を残念ながら失ってしまっ た。

明治から大正にかけて風光明媚、気候温暖の地である富岡には中央政界の大物の別荘があった。 初代首相の伊藤博文も富岡海岸に仮寓する。隣接地には晩年元老侯爵となった井上馨が別荘を構えた。別荘は「富岡楼」という旅館・



(川合玉堂別邸(二松庵)跡 表門)

料亭となり昭和 10 年頃まで繁盛する。三条実 美、松方正義なども、明治の元勲が競ってこの地 に別荘を建てた。

富岡八幡宮参道下から続く宮の前海岸は、大磯、鎌倉などの賑わう以前に、海のきれいな、遠浅の景色の良い海水浴場として多くの人々に親しまれていた。その先駆をなしたのが明治 10 年頃のヘボン博士を始め外国人の富岡紹介に負ったところが多い。別荘を持ち、或いは民宿し、日光浴・海水浴の見本を示した。

明治 17 年頃に宮の前海岸にあった料亭「海宝

楼」が廃業した後も観光客の来訪が続き、土地の 有志は新たな旅館経営を企画した。明治 19 年 に株式を発行し、富岡八幡宮下に料理旅館「金波 楼」を開業する。庭先には海水を引き込んだ生簀 を作り、富岡沖で獲れた魚類を泳がせ宿泊客の眼 を楽しませ、注文に応じて調理した活魚料理は金 波楼の名物として評判を呼んだ。大正 12 年の関 東大震災で建物が倒壊したが再建されることはな かった。

最後に富岡八幡宮を訪問した。建久2(1191) 年源頼朝が摂津西宮の蛭子尊を勧請して創建した と伝わる。安政元(1227)年八幡宮となり、蛭子 尊は八幡宮に合祀されている。



(富岡八幡宮 境内)

本日の探訪は何と言っても最大ポイントが、富岡八幡宮の宮司さんの心の籠ったお話を拝聴出来た事である。富岡八幡宮創建以来の歴史や由来、社殿の造・改築、二大神事である卯陪従、祇園舟など詳しく説明して下さった。そして、神仏分離令の頃の富岡地区の歴史などお話を聞かせて頂き、一時間以上に及ぶ貴重なお話に会員の皆さんは興味深く聞き入っていた。



(富岡八幡宮 宮司の説明)

ガイドの皆さんの行き届いた説明や対応で充実 した一日だった。歩行距離など無理なく設定され ていた。豊かであった富岡地区が、そして数多い 寺社が歴史の大きな舞台であったことを改めて実 感できた。

(金久保 常二 記)

# 古文書を読む会 学習記録

	尾張藩主徳川慶勝	
開催日時		
会場	学習内容	参加者
テーマ		
	今回から「尾張藩主徳川慶勝」を学習。 徳川慶勝は 14 代尾張藩主で尾張分家の高須藩 10	
2023年	代藩主松平慶建の次男。初名は慶恕(よしくみ)。高須藩は尾張本家の世嗣がいない場合に、	
1月12日	然るべき人物が本家相続する役割を担っていたが、将軍家斉による「押し付け養子が4代続	
(木)	き、尾張藩の強い支援によりようやく14代藩主となった」高須 4 兄弟は①本人は尾張藩	
	主、②徳川茂徳(5 男,15 代尾張藩主、後に一橋家を相続)、③松平容保(7 男,会津藩主・	
金沢公会堂	京都守護職)、④松平定敬(8 男,桑名藩主・京都所司代)と活躍した。	40.5
第2会議室	1868 年、慶喜追討の勅令が発せられた際に、討幕派の岩倉具視から徳川一門としての筋	12名
	   を通して旧幕府につくか、勤皇の志をもって新政府側につくか決断を迫られた時、慶勝は新	
	   政府側につき尾張領内・近隣諸国を「勤皇之道」へと説得し、東海道、中山道沿道の 43 の	
尾張藩主	│ │藩、447の旗本領を新政府側につけ西郷隆盛の軍勢を品川まで戦闘無しで進軍させたほか、	
徳川慶勝①	  第一次長州征伐の幕府軍総督として敗者長州に寛大な措置を執る等明治維新に果たした役	
	割は大きい。	
	1, 前半は講師より幕末の主な動きについて解説	
2023年	2. 福岡藩主黒田斉溥から嘉永六年六月廿二日徳川慶勝への手紙: 以前からペリー来航の	
2月9日	噂は幕府も知っていたが、今回嘉永六年(1853 年)浦賀表へ北アメリカ船 四艘が入津し、	
(木)	そのうち二艘は蒸気船で飛ぶ鳥の如く動き回るので老中初め内実は大騒ぎとなり、 俄かに	
	諸家に守衛強化等を仰せ付けられた。今後も何かあったらすぐ連絡するのでと申し付けて	
金沢公会堂	ほしい。	
第2会議室	3. 和親条約、通商条約無勅許調印、井伊直弼暗殺後政情不穏となり文久三年二月に	11名
	公方様(家茂) が上洛するが、前大納言様(慶勝)も同道する様幕府から指示あり、	
	また朝廷からも同様の要請があったのでその旨通達する。 青山保吉(慶勝付の家臣)	
尾張藩主	4. 文久三年老中松平豊前守より大目付へ指示あり、将軍帰江戸延期に伴い、水戸中納言を	
徳川慶勝②	将軍代理として江戸詰めとし、外夷処置、国威高揚に取り計らいに邁進するべき旨仰せ出さ	
	れた。	
	5. 若年寄有馬遠江守よりの通達:今度京派遣の浪士組の内然るべき者を選び、新徴組と	
	唱え替え	
	攘夷決行四月二十三日の期限を延引する理由は、今回の将軍上洛に際し朝廷から加茂行を	
2023年	始め寵偶を賜わり、且つ攘夷決行(横浜港閉鎖交渉)は将軍が江戸を留守にしていても	
3月9日	代理派遣で行き届くと思われるからである。しかし関東では将軍帰府がなければ人心がれ	
(木)	志気が上がらず、攘夷実行は困難な状況であり、江戸留守居役(尾張藩主)からも将軍帰府	
	を急飛脚で渇望している。そもそも条約無勅許調印に原因があるので、挙国一致で横浜開港	
	拒絶し攘夷期限を五月十日とする。 五月十一日・生麦事件賠償金断然払わずとの儀、	
金沢公会堂	水戸藩主より関白鷹司へ早期に御談判有る事。廿八日・水野和泉守より、大樹公からこれ	11名
第2会議室	まで通り大樹公の補佐を相勤めるべしとの慰留あった由。	
	廿九日・隼人正(尾張藩付家老・犬山城主)から慶勝の将軍への補佐受諾書差出し、	
	又老中宛別紙に本来なら将軍補佐は水戸藩に、又尾張・紀伊御家の儀は若し事あらば	
尾張藩主	京師御守護あるべき儀は神祖家康様の御遺志でもある旨。	
徳川慶勝③	六月十七日・小御所に於いて龍顔を拝し、永々在京尽力御賞詞のため御太刀一振りを賜う。	

# 「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No.40

代表 柴崎幸治

## 通算 第 182 回

## 大山(1,252m)

1月の例会は大山詣で、大山は江戸時代から庶民の信仰の山として知られ、「大山詣」として関東一円の 人々が登った相模の名山で、この季節、晴れていれば白き富士が展望できます。8 時 OO 分に秦野駅改札口に 集合し、8:25 発ヤビツ峠行のバスに乗り、9:13 ヤビツ峠到着。ここで準備体操と集合写真を撮り大山山頂 を目指し登山開始、登山道は凍っているので気をつけてゆっくりと急登をのぼり、春岳山に途中枝の間から富 士山が見え隠れした。イタツミ尾根の登山道右側の開けたところから相模湾が眺望できた。さらに登ると左側 に表丹沢と富士山が見られる開けた場所に出るが、先程までよく見えた富士山に雲がかかりだし見ている間に ほとんど隠れてしまった(表丹沢の山々はどうにか見ることが出来た)。 そこから約 10 分で 25 丁目(表参道分 岐)に到着し、26丁目(来迎谷)を通り、山頂への最初の鳥居から木造・金網状階段、石段(周囲には残雪や霜 柱あり)の急登を登り、山頂手前の左側展望地に寄ったが、富士山は全く見えませんでした。もとの登山道に 戻り 28 丁目(残雪が多い)、そして 11:10 に大山頂上本社(1,247m)、11:13 に大山山頂到着。山頂は昨年 整備されて、テーブル、ベンチが増えていた。予報では一1℃くらいでしたが陽射しもあり暖かく感じる中で 昼食をとった。山頂からの東側を眺めると伊勢原市、厚木市などが見られました。11:50 に下社に向けて下 山開始し25丁目の下社とヤビツ峠の分岐を左にとりましたが霜どけによるぬかるみと岩、石で転びやすく何 人かが尻餅をついたりしながら下り 16 丁目に到着休憩と集合写真撮影。途中の富士見台では、全く富士山は 見ることが出来ず残念でした。16丁目を過ぎると泥濘は減りましたが岩と石ころは変わらず気をつけなが ら、さらに下り天狗岩、そして夫婦杉(6百年経ている縁起に良い大木)を見て下社をめざし下る。最後の下社 への傾斜のきつい石段が待っている。この石段を慎重に下り、阿夫利神社下社参拝道口(1丁目 969m)に無 事到着した。阿夫利神社下社で各自参拝し集合写真撮影。ここが今回のゴールですが、ここから大山ケーブル カーの阿夫利神社駅から大山ケーブル駅にそして土産物屋などある参道を下り、大山ケーブルバス停からバス に乗り 15:10 伊勢原駅北口に着きここで解散。

(本ページ 江口副代表 記)

実施日: 2023 年 1 月 19 日(木) 天候: 曇り時々晴れ 歩行時間: 約 4 時間 30 分 歩行距離: 約 4.1km

参加者:15名(男性10名女性5名) コース所在地:神奈川県伊勢原市

交 通: 往路: 京急 金沢文庫 6:22 発 → 6:39 着 横浜[相鉄] 6:46 発 → 7:22 着 海老名 [小田急] 7:33 発 → 7:59 着 秦野 (他、別経路あり)

復路: 大山ケーブルカー 阿夫利神社 14:00 発 ⇒ 14:06 着 大山ケーブル駅 ⇒ 神奈中バス 大山ケーブル 14:45 発 ⇒ 15:10 着 伊勢原駅北口 (解散)

小田急 伊勢原 15:34 発 ⇒ 15:49 着 海老名 [相鉄] 16:01 発 ⇒ 16:27 着 横浜

コースと時間: 秦野駅 8:25 発(神奈中バス ヤビツ峠行)⇒9:13 着 ヤビツ峠バス停 (761m) (準備体操) Start9:30 ⇒ 10:50 25 丁目(表参道分岐) ⇒ 11:13 大山山頂(昼食) 11:50 ⇒12:00 25 丁目 ⇒ 12:33 16 丁目 ⇒ 13:33 阿夫利神社下社 ⇒ 13:40 大山ケーブル 阿夫利神 社駅

明けの春大山の嶺清々しく 一梲



大山山頂



阿夫利神社下社

## 通算 第 183 回

## 城山ハイキングコース

2月例会は、2022年のNHK 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の流れを引いて、頼朝が石橋山合戦に敗れ、主従7人と山中に逃れ、この辺りを領地とする土肥実平父子の案内により洞窟等に隠れ、敵の追手をかわした。そのとき潜伏した岩窟と言われるのが「しとどの窟(いわや)」、そして湯河原が土肥郷と呼ばれたころの史跡の土肥一族の菩提寺城願寺、土肥城址の城山(しろやま)山頂等を歩くコースを実施した。

JR 東海道線湯河原駅に集合し、駅前の繁華街を通り、東海道線のガードをくぐるとすぐに舗装路の急登である。しばらく歩くと平地に着く、そこが城願寺である。寺内には、国の天然記念物である樹齢 900 年のびゃくしん、土肥一族の墓などがあり、パワースポットのびゃくしんの前で記念撮影。城願寺をでると、すぐに舗装の急登の路が続く、振り返れば、輝く相模灘が見える。やがて民家はなくなり、樹々に囲まれた林道となる。途中、兜石への標識、路より 50m ほどの登り道、兜の形をした岩石を見て、再び林道に下る。まだまだダラダラとした林道が続く、やがて林道脇に積雪が見られるようになり、樹々の隙間より見える山並みにも雪であろう白い模様が見える。2、3 日前に雪が降ったのだろうか。そして林道の横のちょっと広い広場には、だれが作ったのか雪だるまがある。やがて林道から離れ山頂への山道に入るピクニックグランド(宮下林道終点)に着く。暫し休息。ここからは雪道になり、樹々にも雪がついている。道は整備されており、雪があっても然程気にならない。登り切ると城山山頂である。程よい広さの山頂は雪景色である。記念撮影。昼食。

屋食後は「しとどの窟」に向かい出発する。山道が続くが、積雪はほとんどなく、程無くしてベンチのある 広場に着く、一面雪である。ベンチの上の積雪高さは 6~7cm ある。そこからはなぜか敷石のある路となる。椿台に到着。椿台は椿の花の上に積雪があり、また樹々の枝に着いた雪が、樹々に花が咲いたように見える、とても綺麗な光景が見られた。椿台を出て舗装路をしばらく歩くと、トンネルになる。トンネルの出口は 路面が凍結している。そこが「しとどの窟」への下る入口である。凍結している九十九折の路を慎重に 20分程下ると「しとどの窟」である。雪も残っており、つらら等もある。記念撮影後、九十九折りの路を引き返す、下りよりも楽ではあったが慎重に上り、トンネルのある舗装路に戻る。トンネルを通り、椿台に引き返す。椿台では、皆気疲れしたか、眺めの休息となる。再び城山への路を引き返す。帰る道は積雪が減った気もする。城山山頂に戻ると、昼食時に作った小さな雪だるまも融けて傾いている。暫しの休息後、午前に登ってきた山道を引き返す。やがて、ピクニックグランドに着く、広い広場である。真鶴半島をはじめ島々が見え、海一面が広がる。そこ(宮下林道終点)を出発すると、長い長い林道の始まりである。このコースがしばらくの間閉鎖されていた原因であろう崖崩れの補修の個所も見られる。やがて民家がある地域になり、湯河原の町になる。そして五所神社に到着。五所神社の御神木である楠は樹齢 850 年の大木で、健康・長寿・ボケ防止の力を与えるパワースポット、当然、触れて力をもらう。そして記念撮影。五所神社を出て、ひたすら湯河原駅へと歩道を歩き、16 時過ぎに全員無事到着、歩行 15km の山行を終える。解散。帰路に就く。

実 施 日:2023 年 2 月 16 日(木) 天候: 晴 歩行時間: 約 6 時間 歩行距離 約 15km 高低差:582m 参 加 者:16 名(男性 12 名 女性 4 名) コース所在地:神奈川県 湯河原町

交 通: 往路: 京急 金沢文庫 6:55 発 →7:15 着 横浜 (乗換) [JR 東海道線] 7:21 発 → 8:17 着 小田原(乗換) 8:20 発 → 8:36 着 湯河原

復路: JR 湯河原 16:11 発 ⇒ 17:20 着 横浜(乗換) [京急] 17:27 発 ⇒ 17:49 着 金沢文庫
□ースと時間: JR 湯河原駅 Start8:45 ⇒ 8:57 着 城願寺(体操) 9:15 ⇒ 10:15 兜石 ⇒ 11:00 ピクニックグランド(宮下林道終点) ⇒ 11:20 城山山頂(土肥城址)(昼食) 12:00 ⇒ 12:30 椿台 12:40 ⇒ 13:00 しとどの窟(いわや) 13:10 ⇒ 13:30 椿台 13:40 ⇒ 14:10 城山山頂 ⇒ 14:30 ピクニックグランド(宮下林道終点) ⇒ 15:40 五所神社 ⇒ 16:07 JR 湯河原







しとどの窟 にて

## 通算 第 184 回 湘南軽便鉄道の廃線跡を辿る

3月例会は、山行の折の秦野駅の案内所でいただいた「秦野さんぽ Vol.48」に記載されていた「湘南軽便 鉄道の廃線跡を辿る散歩道」を見て、ぜひこのコースを歩いて見ようということで、企画、計画したものであ る。実際、このコースを歩くには、地元ではない我々にとってはかなり漠然とした内容の案内であり、当番の お二人は中井町からパフレットを取り寄せたり、下見を2回実施し、このコースに肉付けを行い、例会を案 内してくれました。感謝です。このコースを歩き、神奈川県中井町の一部を知ってもらえたと思います。

小田急 小田原線 秦野駅に朝9時25分に集合、いつもの例会・山行は北口からバスに乗りスタートするの であるが、今例会は南口スタートであり、何もかも新しく感じた。秦野駅のホームを外から眺め、歩き出す。 踏切を渡り北口側へ、そして市街地の中をしばらく歩くと「弘法の清水」である。本日のコースに直接は関係 ないが、当番が案内してくれ、水を一杯いただき、いよいよスタートである。水無川沿いの駅北口に出て、西 側に歩き、秦野橋を渡り、旧矢倉沢往還を北に進み、登録有形文化財「宇山商事(建物)」をすぎると、軽便鉄 道の駅跡「秦野駅跡」である。この駅跡はイオンへの出入り口にある。そこを後にして龍門寺へ、そして「台 町駅跡」へ。そこから命徳寺に、茅葺の古い山門があり、記念撮影。寺を出で、水無川を飛び石で渡り、つぎ の駅跡へと南下する。養泉院、嶽神社を诵ると「大竹駅跡」である。この辺り住宅地に植えられたいろんな木 花が美しい。そこからは東名高速道の秦野中井 IC を目指す、この辺に来ると里山風景となる。IC 入口の道路 を歩道橋で渡り、東名高速道路下を潜ると秦野市と中井町の境界である。再び県道71号線の脇道に入り、や がて「上井ノロ駅跡」。すぐに蓑笠神社を参り、しばらくすると厳島湿生公園である。この湿生公園は葛川の 河岸段丘の下に広がり、湧水の池が厳島神社を囲っている。ここで昼食。コブシ、白木蓮、ヒガンサクラが満 開で美しい。公園を出るとすぐに名刹米倉寺(べいそうじ)である。この寺は武田家家臣米倉丹後守の菩提寺で もあり、立派な寺である。寺を出て、しばらくすると「下井ノロ駅跡」である。この辺りはナズナやつくし 等、野の花が美しい、まだまだ長閑である。さらに南下し、中井町と二宮町の境を超すと浄源寺である。お参 りする。寺を過ぎ少しで「一色駅跡」。この駅跡を過ぎてしばらくすると、今まで歩いてきた県道71号線、 葛川と並行するような脇道は 71 号線に合流する。県道を南下し、小田原厚木道路を潜り、程無くすると「中 里駅跡」になる。この辺は市街地である。中里駅跡を過ぎるとすぐに東海道新幹線の下を通り、しばらくして 71 号線を離れ、お土産を買いに「野原の落花生」店により、各自、土産として落花生等を買う。ここからは JR 二宮駅を目指し歩く、やがてほぼ二宮駅前にある「二宮駅跡」である。この駅跡は湘南軽便駐輪場と名の ついた駐輪場の前にある。少し歩いて JR 二宮駅である。

これで「湘南軽便鉄道の廃線跡を辿る」の旅は終わりである。どなたかが言っていましたが、駅跡のモニュメントだけでなく、1、2ヶ所でも良いのでレールや駅舎の一部を残しておいてほしかったですね。

実 施 日:2023 年 3 月 16 日(木) 天候:晴れ コース所要時間:約5 時間 30 分 距離:約10km 参 加 者:20 名(男性 15 名 女性 5 名) コース所在地:神奈川県 秦野市 中井町 二宮町

交 通: 往路: 京急 金沢文庫 7:41 発  $\Rightarrow$  8:00 着 横浜[相鉄] 8:07 発  $\Rightarrow$  8:44 着 海老名 [小田急] 8:55 発  $\Rightarrow$  9:16 着 秦野

復路: JR 二宮 15:36 発 ⇒ 16:16 着 横浜

コースと時間: 秦野駅 9:30 ⇒ 9:35 弘法の清水 ⇒ 10:05 軽便鉄道秦野駅跡 10:10 ⇒ 10:20 龍門寺 10:30 ⇒ 10:35 台町駅跡 ⇒ 10:45 命徳寺 10:50 ⇒ 11:17 養泉院 11:20 ⇒ 11:35 大竹駅跡 11:38 ⇒ 12:12 上井ノロ駅跡 12:14 ⇒ 12:16 蓑笠神社 12:18 ⇒12:30 厳島湿生園(昼食) 13:15 ⇒ 13:20 米倉禅寺 13:45 ⇒ 13:47 下井ノロ駅跡 ⇒ 14:22 − 色駅跡 ⇒ 14:45 中里駅跡 ⇒ 15:15 二宮駅跡 ⇒ 15:30 JR 二宮駅

春びより鉄道史跡訪ね行く 一梲



厳島湿生園 にて



米倉寺 にて

## 街の灯 (City Lights)

観賞日 2023年1月23日 上映時間87分 【参加者 37名】

#### 【概要】

制作 1931年 アメリカ

監督 チャールズ・チャップリン

脚本 チャールズ・チャップリン

音楽 アルフレッド・ニューマン、チャールズ・チャップリン

撮影 ローランド・トザロー、ゴードン・ポロック

出演 チャールズ・チャップリン (浮浪者)

ヴァージニア・チェルリ(盲目の花売り娘)、ハリー・マイヤーズ(富豪)



#### 【あらすじ】

1929年、アメリカ。浮浪者のチャップリンは、ある日街角で貧しい盲目の花売り娘と出会い恋をする。その晩、自殺しようとした酔っ払いの富豪を救い親しくなる。娘の関心をひこうと、「あしながおじさん」を気取るチャップリンと、「白馬の王子様」を想像する花売り娘。娘の目を治そうと奮闘するチャップリンはボクシングに挑戦するがそううまくはいかない。漸く富豪から得た資金を娘に渡すが、その後泥棒と間違われて逮捕されるチャップリン。何か月後かのある日、視力を回復した娘の前に、薄汚い浮浪者が現れる。花売り娘はふとしたことから、その浮浪者が夢にまで見た「白馬の王子様」であることに気づいて・・・。

チャップリン映画の中でも最も評価の高い作品。笑いあり涙ありのサイレント映画の最高傑作。

#### 【解説】

#### ■ポイント

●サイレント映画だからできること

サイレント映画の表現は役者の表情、身振り、手ぶりと最低限の字幕だけで、あとは受け手の想像力。本作で娘が最後に発した字幕の出ない言葉は何だったのか?

●チャップリンのメッセージ

本作で描いている時代は1929年の大恐慌直後

チャップリンの視点:他人への思いやり、弱い者の立場にたつ

「目が見えないときに見えたものが、目が見えるようになると見えなくなる」花売り娘

「酔っていた時に人間性を回復し、素面になると人間性を失う」富豪

### ■見どころ、

●あまりに有名なラストシーン:映画史に残る名台詞「You?」 ここに至るまでに張り巡らされた多数の伏線を一気に回収

●喜劇役者として面目躍如のギャグシーン

冒頭の記念碑除幕式シーン

笛を飲み込むシーン

スパゲッティを食べるシーン

ボクシング:本作中最高のギャクシーン

その他多数



## インビクタス/負けざる者たち(Invictus)

観賞日 2023年1月30日 上映時間 132分

【参加者:47名】

## 【概要】

制作 2009年 アメリカ・南アフリカ共和国

原作 ジョン・カーリン

■ 監督 クリント・イーストウッド

■ 脚本 アンソニー・ペッカム

▮ 撮影 トム・スターン

■ 音楽 カイル・イーストウッド、マイケル・スティーヴンス

【 出演 モーガン・フリーマン (ネルソン・マンデラ)、マット・デイモン (フランソワ・ピナール)

トニー・キゴロギ(ジェイソン・シャバララ)



### 【あらすじ】

1990年2月、南アフリカ。アフリカ民族会議議長のネルソン・マンデラが27年ぶりに釈放される。4年後全人種による選挙が行われ、マンデラが同国で黒人初の大統領に選ばれる。就任早々、官邸職員を前に「差別、報復はしない」と話すマンデラ。マンデラは多民族の融和を第一とする「虹の国」構想を掲げる。そして仲間の反対を押し切り、アパルトヘイトの象徴となっていたスプリングボクス(愛称「ボカ」)の名称を残そうとする。1年後に迫ったラグビーW杯は同国で開催される。混乱した国内事情を反映して低迷する代表チーム。マンデラはボクスのキャプテン、フランソワ・ピナールを官邸に招き、ヒントを与え優勝を狙えと話す。黒人居住地で子供たちにラグビーを指導するボクスのメンバー。いよいよ始まるW杯。初戦の相手は強豪、オーストラリア。初戦を突破して国全体が「ワンチーム・ワンネイション」に盛り上がる。翌日マンデラが収監されていた独房を訪れたボクスのメンバーはマンデラの意志の強さを知る。その後も勝ち進むボクスはついに決勝戦に進出。相手は実力世界一のニュージーランド、オール・ブラックス。果たして勝負の行方は。

ラグビーで国を一つにまとめあげたマンデラとスプリングボクス。感動の実話の映画化。

#### 【解説】

#### ■ポイント

- ●ネルソン・マンデラ(1918年~2013年)
  - アフリカ民族会議(ANC)に入党、アパルトヘイト抵抗運動を開始する。非暴力運動から武装闘争に方針転換。
  - 1962 年逮捕され国家反逆罪で終身刑。27 年の獄中生活を経て釈放。ANC の議長に就任。
  - 1993 年デクラークとともにノーベル平和賞受賞。1994 年第8代の大統領に就任 (同国では初の黒人大統領)。1999 年政界引退。



- ラグビーは19世紀イングランドのパブリックスクールが起源。その後、大英帝国の植民地(特に南半球)に広まる。
- 同国の代表チーム名は「スプリングボクス」と呼ばれ、1995 年に W 杯初出場、初優勝を果たした。2019 年、日本で開催されたワールドカップで優勝したのは記憶に新しい。

#### ■見どころ

- ●W 杯優勝に導いた、マンデラとピナールのリーダーシップ
- ●エンディング曲

ホルスト作曲の「ジュピター」につけた歌詞



## 笑の大学

観賞日 2023年2月13日 上映時間120分

【参加者::35名】

#### 【概要】

制作 2004年

監督 星護

原案 • 脚本 三谷幸喜

音楽 本間勇輔

撮影 高瀬比呂史

出演 役所広司(向坂睦男)、稲垣吾郎(椿一)、高橋昌也(制服警官)



## 【あらすじ】

太平洋戦争開戦前夜の昭和15年秋、国民が笑いに飢えていた時代。浅草の喜劇劇団「笑の大学」の座付き作家、椿ーは翌月に上演予定の新作「ジュリオとロメオット」の台本を書き上げ検閲を受ける。検閲官は、いまだかつて心から笑ったことはないという堅物の向坂睦男。向坂はこの台本では到底、上演許可はできないと言い放つ。向坂の要求は、設定をすべて日本に置き換え登場人物も日本人にせよというもので、再提出の期日は明日という無茶なもの。翌日、書き換えて持参するがまた別の要求が出される。その後も向坂の無理難題は続くが、一刻も早い上演を願う椿はあの手この手で応じる。次第に、向坂と椿の間に奇妙な連帯感が生まれる。一旦は、向坂の許可が下り、安心した椿は思わず真情を吐露してしまう。激怒した向坂は椿に笑いのない喜劇を書けと命じる。翌日椿が持参した台本は・・・。椿が腹を決めた理由は・・・。最後に、向坂が椿に向かって叫んだ言葉は・・・。

同名舞台劇の映画化。三谷ワールドを役所広司と稲垣吾郎が熱演。笑いと涙の二人芝居。

## 【解説】

#### ■ポイント

●三谷幸喜(1961年~)

東京生まれ。日大藝術学部在学中に劇団サンシャインボーイズを結成。94年のTVドラマ「古畑任三郎」で注目を浴び、97年「ラヂオの時間」で監督デビュー。

その他の代表作:映画 「12人のやさしい日本人」(91年)、

「THE 有頂天 ホテル」(06年)

TV:「新選組」(O4年)、「鎌倉殿の13人」(22年)

#### ■見どころ

●二人芝居

演技力が問われる、二人芝居を役所広司とスマップの稲垣吾郎が好演

- ●再三現れる見慣れた建物
- ●予想しなかった意外な結末
- ●椿一は脚本家、三谷幸喜の分身
- ●堅物の向坂を変えたものは何だったのか



## 学校

観賞日 2023年2月27日 上映時間 128分

【参加者:41名】

【概要】

制作 1993 年 松竹

監督 山田洋次

脚本 山田洋次、朝間義隆

音楽 冨田勲

撮影。高羽哲夫、長沼六男

出演 西田敏行(黒井先生)、竹下景子(田島先生)、田中邦衛(イノさん)、

萩原聖人(カズ)、中江有里(えり子)



## 【あらすじ】

東京下町の夜間中学校。様々な過去を背負いながら通う生徒達。卒業を間近に控えて卒業記念 文集作成の中、中年の独身で名物教師の黒ちゃんこと黒井先生は生徒達との回想にふける。56歳 で入学した在日で焼肉店を営むオモニ。鑑別所にもいたことがある不良少女のみどり。生徒で一 普通の家庭に育った登校拒否のえり子。中国人の父と日本人の母を持ち協調性のない張。精神薄 弱の修。黒ちゃんの喧嘩相手で清掃会社で肉体労働に従事するカズ。そして、体調を崩したイノ さん。イノさんは天涯孤独の身で 50歳を過ぎてようやく夜間中学にたどり着く。読み書きを勉 強し憧れの英語教師田島先生にラブ・レターを書く。しかし、長年の疲労が蓄積して病に倒れ入 院、やがて故郷に帰るイノさん。そのイノさんが死亡したという連絡が入る。ショックをうける 生徒達と黒井先生。イノさんの一生は一体何だったのか。学校とは。幸福とは。

映画作家山田洋次が長年温めてきた構想を具現化。夜間中学校の存在を世に知らしめた渾身の 力作。学校シリーズの第 1 作。

#### 【解説】

#### ■ポイント

●夜間中学校

様々な事情により、中学校で勉強のできなかった人、本国で義務教育を修了できず日本で生活している外国人等を対象とする中学校の夜間学級。

●受賞(1994年第17回日本アカデミー最優秀賞)

作品賞、監督賞、脚本賞、主演男優賞(西田敏行)、助演男優賞(田中邦衛)

- ●シリーズ化(全4作品)
  - ・学校Ⅱ 1996年 高等養護学校
  - 学校Ⅲ 1998年 職業訓練校
  - +五才学校Ⅳ 2000年 不登校

#### ■見どころ

●名セリフ

「幸福を理解するためにするのが勉強じゃないのか」(えり子) 「授業は全員が汗をかいてつくるもの」(黒井先生)

- ●有馬記念競馬の実況をするイノさんの熱演
- ●心に染み入る冨田勲のテーマ音楽

## 天国と地獄(High and Low)

観賞日 2023年3月13日 上映時間 143分 【参加者: 37名】

#### 【概要】

制作 1963年

監督 黒澤明

原作 エド・マクベイン(「キングの身代金」)

脚本 黒澤明、菊島隆三、久板栄二郎、小国英雄

音楽 佐藤勝

撮影 中井朝一、斉藤孝雄

出演 三船敏郎(権藤金吾)、仲代達矢(戸倉警部)、香川京子(権藤怜子)、山崎努(竹内銀次郎) 三橋達也(河西)、石山健二郎(田口部長刑事)、佐田豊(青木)、志村喬(捜査本部長)



#### 【あらすじ】

1960年代前半、横浜浅間台の豪邸。ナショナル・シューズの経営権を巡り争う4人の会社幹部。 そこに1本の電話が。屋敷の主である権藤金吾の長男純を誘拐したと告げる犯人。しかし純は屋敷にいた。犯人は間違って運転手の子供の進一を誘拐してしまったのだ。用意した資金を他人の子の身代金支払いのために使うか、夢を実現するために使うか揺れ動く権藤。結局、権藤は犯人の要求に応じ、進一は無事身柄を確保される。

後半は一転して、犯人検挙に突き進む警察と犯人の攻防が中心になる。マスコミの協力を得て憎むべき犯人に、より重い刑を与えようと動く県警。地道な捜査が実り、漸く犯人の目星をつけ、伊勢佐木町、黄金町、腰越へと犯人を追い詰める。果たして、県警は犯人を死刑判決まで追い込めることができるのか?

地元横浜を舞台に、警察と犯人の息詰まる攻防を描く黒澤サスペンスの傑作。

## 【解説】

#### ■ポイント

- ●地元横浜を舞台にした土地勘満載の作品 浅間台、横浜市大浦舟町病院、江/島、伊勢佐木町、吉田橋、黄金町、腰越等の馴染みの場所の オンパレード。
- ●作品の影響力
  - 身代金目的の誘拐犯の重罪化(一本の映画作品が法律を変えた)
  - ・模倣犯の出現

#### ■見どころ

●ベストの俳優陣

三船、志村、仲代の黒澤組常連に山崎努が加わる。

●ストーリィー展開の面白さ

犯人が誘拐する子供を取り違えるというひねり。同時に経営権取得のために用意された5千万円の存在。子供の命か夢の実現か選択を迫られる権藤。

- ●モノクロ映画の中で鞄の存在を高らかに告げるピンク色の煙
- ●当時、京急高架線下の黄金町近辺は麻薬の巣窟。異様に光るサングラスと麻薬常習者役菅井きん (当時 37 歳)の演技
- ●ラストシーンの山崎努の演技は映画史に残る名演技

## 壬生義士伝

観賞日 2023年3月27日 上映時間137分

【参加者:35名】

【概要】

制作 2004 年 監督 滝田洋二郎

脚本 中島丈晴

原作 浅田次郎 『壬生義士伝』(2000年)

出演 中井貴一(吉村貫一郎)、佐藤浩市(斎藤一)、三宅裕司(大野次郎右衛門)

夏川結衣(しづ、大野みつ)、中谷美紀(ぬい)、村田雄浩(大野千秋)



明治 32 年冬、東京。閉院間近の大野医院に孫を連れた一人の老人・斎藤一が現れる。斎藤はそこにあった写真を見て驚く。写っていたのは斎藤が新選組時代に最も嫌ったが一目置いた男、吉村貫一郎であった。院長の大野千秋によれば、貫一郎は南部盛岡藩の下級武士の身でありながら、学才と剣術に秀で藩校の教授を務めていた。千秋の父、次郎右衛門とは竹馬の友であり、後に藩主になった次郎右衛門が最も信頼を寄せていた人物である。外では尊敬されていたが、北国の下級武士の生活は苦しく家族 5 人の生活を護るため貫一郎はやむを得ず脱藩という非常手段に打って出る。脱藩後の貫一郎は斎藤の知るところで、北辰一刀流免許皆伝の腕前で剣は滅法強いが、カネに汚い変人で斎藤自身もある事件で貫一郎に口止め料を請求されたことがあった。やがて、新選組も意見の相違から分裂、貫一郎は義を貫き最後まで幕府軍に付いて新政府軍と戦う。鳥羽伏見の戦いで重傷を負った貫一郎は大坂にある南部藩邸に逃げ込み次郎右衛門と対面する。そこで、次郎右衛門が貫一郎に下した命令は・・。

浅田次郎の柴田錬三郎賞受賞作の映画化。家族を愛し、義に殉じた武士の姿を描く人間ドラマ。各映画賞を受賞した感動作。

#### 【解説】

#### ■ポイント

●三つの時代が並行的に描かれる

盛岡時代:貫一郎と次郎右衛門との関係、貫一郎の家族、脱藩の理由

新選組時代:斎藤が語る貫一郎の行動、変人ぶり

明治32年:大野千秋が語る貫一郎と家族、貫一郎の最期

●受賞(2004年第27回日本アカデミー賞)

6部門にノミネートされ3部門で受賞

作品賞、主演男優賞:中井貴一、助演男優賞:佐藤浩市

### ■見どころ

●貫一郎の生きざま

義に生きる、家族愛、次郎右衛門との友情

●登場人物で誰に感情移入できますか

貫一郎、次郎右衛門、千秋、斎藤、•••。

# 「浮雲俳句会」

抄録 NO.60

代表 太田 耕蔵

3月句会を終え新体制になって丸2年が経過しました。主宰という指導者を置かない句会はお互いに遠慮し、俳句を作る楽しみはあるものの俳句上達の刺激が少なくなり勝ちです。これを打破し切磋琢磨しながら俳句上達の果実を得るために、会員全員参加による「合評」を取り入れてきましたが、その成果は上がっているものの未だ十分とは言えない状況です。新体制3年目の来年度は「合評」の内容の更なる充実を図り、会員全員の俳句作りの楽しさと作品のレベルアップを目指したいと思っております。また、病気等による会員の減少を補充する新会員募集にも力を注ぎたいと考えております。

## 167回句会 令和5年1月29日

## 会員選の特選句と自評

## 浜どんど達磨を舐める火炎かな 重 九

地域のイベント・横浜金沢冬の風物詩「どんど焼き」が海の公園砂浜で1月21日開催されました。どんど焼は左義長とも言われる古くからの小正月の火祭りの行事で、正月飾りや門松、書き初め、達磨などを持ち寄り焼きます。幾重もの赤い火炎(ほむら)がまるで達磨を舐めるように広がっていく様子を詠みました。もうすぐ春が来ます。

## 仕舞湯の曇る窓にも雪明り 二 祥

夜更けに風呂に入った。外は夕方から降り出した雪が今もしんしんと降っている。風呂の窓に露がつき、湯気で曇っているが、うっすらと明るい。雪明りだろうか。今日も一日無事に終わろうとしている。有り難いことだ。 句としては比較するものもないのに中七に助詞「も」が今一つしっくりこないでいる。ここは単純に「窓にほのかな雪明り」にした方が良かったかなあ。皆様添削して下さい

## 淡々とありのまま生き春を待つ 一 梲

最近、仲間が良からぬ病で入院したり、コロナに罹ったり、気がかりなことが多い。更に寒波の到来で身の縮む思いの寒さから外出するのも億劫になりがちである。とは言え、じたばたすることなく健康に配慮しながらかつ、ストレスを溜めないように留意し毎日を無事に過ごすことが出来ている。よってもう直ぐに訪れるであろう春を心待ちにしている己の心境を1句に仕立てた。

## 裸木の言ふ生きるとは耐えること 十 九

瑞々しい成長の時期・力強さの溢れる繁茂の時期・彩りの華やかな時期など様々な時代は過去のものとなり、 今は寒々しい姿をさらすのみの裸木ではあるが、しかしそれは生の終りの哀れさではない。寒風に耐え氷雨に濡れそぼってはいても、諦めではない前向きの望みをしっかりと内に抱いての芯の強さを秘めたものが脈打っているのが見てとれる。耳を澄ませば、今を耐えればまた春がきっとくるのだと歌っているのが聞こえる。

## 晩学の書を繙くや冬木の芽 二 祥

小生の晩学とは俳句の事です。俳句を「浮雲俳句会」で始めて、十年余りになりますが、俳句は気分転換の一環と思って参加しておりました。三年前、ある俳句会の重鎮になっている知人と久方振りに会った折、小生の俳句音痴が露呈、こんな基本的な事も知らなかったのかと自分自身が情けなくなりました。紹介された入門書〜実作入門、文語文法まで一気に読破、目から鱗が落ちました。それ以来、他の俳句会、添削講座にも入会し、細々と取り組んでいます。自戒も込めて今回の句となりました。

## 寒晴やむさし野走る送電線 二 祥

むさし野とは「武蔵野台地」を指し、東は荒川、西は多摩川、北は埼玉・入間川に囲まれた東京都下、埼玉県に広がる地域である。小生は就職で上京後約十年三鷹、国立市に住んでいました。昨年の十二月、冬晴れの多摩 八王子に墓参り、帰りに埼玉の所沢から国立をドライブ、都市化した武蔵野ですが、まだ丘陵も雑木林あり、国 木田独歩の風情も残っている。遠く秩父連山も見えたが、やけに送電線が目に付き、雲一つない真っ青な空に大きな存在感だ。

## よちよちと笑顔のくるよ四温晴 真 青

三寒四温のある暖かな日、外の空気を吸いに散歩に出かける。車の通らない住宅街の道に幼子が母親と出てきた。まだ歩き方がやや危なっかしいが外に出たうれしさからか、一人元気にこちらへ向かってくる。喜び一杯の顔で来た。

# 168回句会 令和5年2月26日

## 会員選の特選句と自評

## 延々と後ろ手の婆麦を踏む 二点

昭和30年代前半の私が生れ育った埼玉県北西部での情景を詠んだものです。麦畑に一人のお婆さんが背を丸め、後ろに手を組んで蟹のように横歩きで麦を踏んでいました。広大(私には見えた)な畑で寒い朝、いつ終わるのか判らない作業を黙々と続けているその姿に、感銘を受けたのを覚えています。

# 残照の川面に醸す余寒かな 十 九

自宅からシーサイドラインの並木中央駅へは、運河沿いの気持ちの良い道である。歩いて五・六分ほどの短い道だが、私のお気に入りの道である。春夏秋冬の四季ごとに川面はそれぞれに異なった風趣を映し出す。その自然の微妙な工夫は、短い時間ながら心安らぐものを覚える時間である。春早い今、残照の川面は、薄れゆく色を惜しみつつも、明日への希望も抱かせてくれる。その暮色の中に川面の醸し出したかのような余寒が揺らいでいる。

## 下萌や燥ぐカラーのスニーカー とも女

早春になり、待ってましたとばかりに、草が芽を出し始めました。まだ、北風の吹く寒い日もありますが、若 芽の強さを目の当たりにします。近所に、大木や花壇のある比較的大きな公園があります。中に入ると、若い緑 の草が、頭をもたげていました。ここは、保育園児がよく遊びに来る公園です。園児たちは、寒さに強い。自由 に放されると、緑の草の芽の上をピンクやブルーのスニーカーを履いた園児たちが、楽しそうに走り回っていま した。

## 春告げる色とりどりの和菓子かな 重 九

京急の日ノ出町で下車して大岡川に向かって歩いていたら、橋の袂に和菓子店を見つけた。ショーウィンドーの展示に惹かれ、店内に入ると創業百数十年らしき雰囲気の中に桜餅、柏餅、うぐいす餅、桜羊羹など色とりどりの春を告げる和菓子が並んでおり、楽しくなって買ってしまった。何時も食べる洋菓子とは違った日本の季節感あふれた和菓子に心惹かれたひとときでした。

## 芽吹かんと雨に和らぐ枝の先 とも女

長かった厳しい寒さも、ようやく去って行く気配を感じる今日この頃です。木々は、長い冬の寒さに、じっと耐えてきたことでしょう。そして、芽吹くという春の準備を、着々としてきたことでしょう。我が家の狭庭にも、今芽吹かんとする木があります。檸檬、海牚と杏子の木です。檸檬は、薄緑の芽、海棠と杏子は赤みを帯びた色の芽です。先日の雨で、木々はみずみずしくなり生き生きしてきました。これから、一日ごとに芽の膨らんでいく様子が楽しみです。

## 春陽や寄せる波間の白砂踏む 一 梲

山梨県の山に囲まれた山間部で育った。いつの日か海の近くに住みたいとの願望を持ち続けていて、結婚の10年後に金沢区西柴に転居し約50年が経った。引っ越して間もないころは家族でよく海の公園の波際に行き、子供たちと一緒に寄せる波と戯れた。当時の記憶をもとに一句をしたためた。

## 169回句会 令和5年3月26日

## 会員選の特選句と自評

### 薄絹の雲を褥に朧月

## 十九

満月には勿論のこと、人は様々な月にその時々の感懐を抱く。三日月にも寒月にさえもそれぞれに思いを寄せてきた。朧月には、朧なるが故の優しさ・和みがあるが、また、朧なるが故の淋しさや孤独感を覚えることもある。ひとひらの薄雲が、その朧月をそっと浮かせた時、朧月にふっと安らぎが生まれる。そして、安堵を得たかのような優しさの光が野山をそっと撫でてくれる。

## 浮雲の流れは永久に卒業す 國 眼

時々、天を仰ぐようにしています。浮雲が流れています。健康上の理由により、今回「浮雲俳句会」を退会するに際し、3月の兼題が「卒業」で、この句が浮かびました。俳友との想い出は尽きません。永久にあれかしとの祈りを込めました。

# 春障子役者気取りの猫歩く 十 九

明るい春の光が障子を通して青畳を照らしている。ゆったりと、猫の影がその明るさの中を移動していく。もともと猫は、人のご機嫌取りに長けていて、人に見られるといつも自分を気に入ってもらえるような動きをする

そうだ。誰の目を意識したのか、春障子のライトアップの中を、芝居気たっぷりの、まさに役者気取りの歩をは こんでいる。笑ってしまいそうな。

## 水筒も財布も忘れ春意かな 國 眼

春らしい陽気に誘われ、マフラーも手袋も部屋に置いて外出です。玄関を出ると身も心もうきうきした気分です。途中で気が付いたのですが、さあ大変。水筒も財布も見当たりません。でもまあいいかと一頻り休憩して引き返しました。

## 山笑ふ揺るる二の足かずら橋 二 祥

徳島県にある日本三大秘境「祖谷」を詠んだ句。ここの「かずら橋」は白口かずらを編み重ねた吊り橋だ。一歩踏み出す度に軋んで揺れ、足許の隙間からは「祖谷川」が見える。スリル満点で次の足が出ない。高<mark>所</mark>恐怖症の小生、本当に怖かった事今も思い出します。山も笑っていただろう。(季語の使い方が不適切かも?)句としては、語順に多少無理もありますが、二の足の「あし」とかずら橋の「はし」で韻を踏んだ。リズム感を出したつもりですが、句として成功しているだろうか?

## 陽春やパステルカラーの花売場 祥代

春真っ直中の陽気のみちみちた春。暖かく明るい春。身も心も春となり、パステルカラーのように、柔らかく て明るく澄んだ感じの中間色の気持ちを、花売場に託して詠んでみました。

## 春耕や富士の遠景ひと呼吸 一 梲

定年退職 60 歳の直前から約 10 年間自宅から 3 分ぐらいの高台に畑を借り野菜作りを楽しんだ時のこと。その畑からは二子山や朝比奈峠など鎌倉方面の山並みから富士山の七合位から上が見え一畝毎に遠景の富士山を見ながらひと呼吸入れるなど楽しみながら充実した時間を過ごした思い出を一句に仕立てた。野菜作りを続けたかったものの地主が家を建てることになり断念せざるを得なかった。

## 春風を鞄に詰めて上京す ニ 祥

大それた事ですが、高浜虚子の「春風や闘志抱きて丘に立つ」を思い浮かべながら、小生の五十数年前の姿を含め地方から東京に出てくる青年等の心境を詠んでみました。暖かく穏やかで爽やかな春風の中、それぞれの希望やヤル気とちょっぴりの不安を「鞄に詰めて」と表現して詠みました。現在でも多かれ、少なかれ通じると思いますが、どうでしょうか。

# パソコンを使いこなす会 実施報告【12】 2023年1月~3月

## 2022 年度 第 19 回分科会

▶ 日時:1月10日(火)9:30~12:00

▶ 場所:八景コミュニティハウス

内容:ペイント3D講座

1.ペイント3Dの「マジック選択」を使って 写真を切り抜く

2 切り抜き画像を保存する

3.切り抜いた画像を別の写真に貼り付ける



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

▶ 参加者: 16 名+Z2 名

テキスト:パソコンを使いこなす会\_2023年1月10日\_テキスト

## 2022 年度 第 20 回分科会

▶ 日時:1月17日(火)9:30~12:00

▶ 場所:八景コミュニティハウス

▶ 内容:ペイント講座

1.ペイントを使用して写真加工 (写真1枚使用)

2.ペイントで写真を合成する方法

(重ねる写真と切り抜いた写真の2枚を使用)



この QR コードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

▶ 参加者: 14 名+Z2 名

▶ テキスト:パソコンを使いこなす会 2023年1月17日 テキスト

## 2022 年度 第 21 回分科会

▶ 日時:2月14日(火)9:30~12:00

▶ 場所:八景コミュニティハウス

▶ 内容: Internet 講座 -Google フォト -

Ⅰ. 準備作業

1.スマホで写真を撮る

2. 「Google フォト」アプリのインストール

3.画像のアップロード

Ⅱ. 写真の編集

A) パソコン

1.写真の切り抜きや回転を行う

2.タイムスタンプを変更する

3.編集内容を元に戻す

B) スマホ

1.ご利用の前に

2.編集の提案を使用する

3.写真の切り抜きや回転を行う

4.フィルタを追加する

▶ 参加者:16名+Z2名

テキスト:パソコンを使いこなす会 2023年2月14日 テキスト



このQRコードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来ます。

## 2022 年度 第 22 回分科会

▶ 日時:2月21日(火)9:30~12:00

▶ 場所:八景コミュニティハウス

▶ 内容: Windows 講座 -パソコンのカスタマイズ -

1.タスクバーには必要なアイコンだけ

2. 通知領域のアイコンを整理

3.「ピン留め」でアプリを即起動

4.ショートカットを作ってピン留め

5.スタートメニューのタイルを整理

6.「個人用設定」からカスタマイズ

7.アイコンのドラッグ・アンド・ドロップでショートカットの追加

▶ 参加者:17名+Z2名

▶ テキスト:パソコンを使いこなす会 2023年2月21日 テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み 込むと、テキストを見ることが出来ます。

## 2022 年度 第 23 回分科会

▶ 日時:3月14日(火)9:30~12:00

▶ 場所:八景コミュニティハウス

▶ 内容:Internet 講座 -LINE-

1. Windows/Mac 版の LINE アプリをパソコンに インストールして利用する

2.PC「LINE」を起動させ、スマホ版の LINE アカウントにログインして使用

3.パソコン版 LINE の基本的使い方: 設定・ファイルなど送受信・保存

4.Keep について スマホ・PC

5.その他 便利機能

▶ 参加者:16名

テキスト:パソコンを使いこなす会\_2023年3月14日\_テキスト



このQRコードをスマホのアプリで読み込むと、テキストを見ることが出来

## 2022 年度 第 24 回分科会

▶ 日時:3月21日(火)9:30~12:00

▶ 場所:八景コミュニティハウス

▶ 内容:スマホ講座 - LINE -

1.スクリーンショット機能

2.転送機能

3.リプライ機能とメンション機能

4.Keep 機能

5.アナウンス機能

6.トークルームで WEB 検索する機能

7.「ホーム」内の「マイクボタン」で音声検索

(機種によっては表示されていないものある)

8.ラインアイコン長押しで QR コード起動

9.ラインのバックアップ

10.安否確認

▶ 参加者:17名 + Z2名

▶ テキスト:パソコンを使いこなす会 2023年3月21日 テキスト



この QR コードをスマホのアプリで読み込む と、テキストを見ることが出来ます。

# MEMO



#### 2023年6月~2023年8月の予定

注:表中の「 CC 」は、「 地区センター 」の略

学習会		6月	7月	8月
# 合場所: SL 海の公園柴口駅 テーマ: 総倉公がゆかりの地を歩く 訪問先: 暗野神社・宝蔵院・八県島 が高端、	学習会	9:30~12:00 源氏将軍の断絶と北条義時・三浦義村	13:30〜16:30 金沢北条氏の歴史	10:00~12:00 金沢文庫展示関連(詳細未定)
古文書を		集合場所: SL 海の公園柴口駅 テーマ: あじさいの道 訪問先: 熊野神社〜宝蔵院〜八景島 (あじさい鑑賞)〜アメリカ ン・アンカレッジ記念碑〜SL	集合場所:京急「大塔宮バス停」 テーマ:鎌倉公方ゆかりの地を歩く 訪問先:鎌倉宮〜理智光寺跡〜永安寺	集合場所:金沢公会堂 多目的室 テーマ: 座学 DVD鑑賞「国宝へようこ そ」 ①法隆寺
水部		場所:金沢公会堂第二会議室	場所:未定	場所:未定
懐かしの 映画を 観る会     12:15〜ウェストサイド物語 6月27日(月)金沢CC 12:15〜映春     12:15〜明日に向かって撃て 7月24日(月)金沢CC 12:15〜マルサの女     12:15〜大いなる幻影 8月28日(月)金沢CC 12:15〜エビータ       ア月24日(月)金沢CC 12:15〜マルサの女     8月27日(日)10:00〜 第172回句会 会場:晴嵐かなざわ 課題:当季雑詠3句、兼題1句     8月27日(日)10:00〜 第174回句会 会場:晴嵐かなざわ 課題:当季雑詠3句、兼題1句       水ソコン を使い こなす会     6月13日(火)八景コミハ Internet 講座 - ファイル転送 - 6月20日(火)八景コミハ Internet 講座 - Microsoft アカウント -     7月11日(火)八景コミハ WORD 講座 - 7月18日(火)八景コミハ Windows 講座 - Explore -     8月8日(火)八景コミハ WORD 講座 - 5県案内(2) -       ・ 数月27日(日)10:00〜 第174回句会 会場:晴嵐かなざわ 課題:当季雑詠3句、兼題1句     8月8日(火)八景コミハ WORD 講座 - 5県案内(2) -       ・ 数月3日(火)八景コミハ Windows 講座 - 三を取lore -     8月15日(火)八景コミハ WORD 講座 - 募集案内(2) -	の道	飛龍ノ滝と鷹巣山から千条ノ滝	三浦富士(183m)から武山(200m)	休み
浮 雲 俳句会第 172 回句会 会場: 晴嵐かなざわ 課題: 当季雑詠 3 句、兼題 1 句第 173 回句会 会場: 晴嵐かなざわ 課題: 当季雑詠 3 句、兼題 1 句第 174 回句会 会場: 晴嵐かなざわ 課題: 当季雑詠 3 句、兼題 1 句パソコンを使いこなす会を使いこなす会「	映画を	12:15〜ウェストサイド物語 6月27日(月)金沢CC	12:15〜明日に向かって撃て 7月24日(月)金沢CC	12:15〜大いなる幻影 8月28日 (月) 金沢 CC
Internet 講座		第 172 回句会 会場: 晴嵐かなざわ	第 173 回句会 会場: 晴嵐かなざわ	第 174 回句会 会場:晴嵐かなざわ
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	を使い	Internet 講座 - ファイル転送 - 6月20日(火)八景コミハ Internet 講座	WORD 講座 - 表 - 7月18日 (火) 八景コミハ Windows 講座	WORD 講座 - 募集案内 ① - 8月15日(火)八景コミハ WORD 講座

## 連絡先

- ・学習会 080-6755-1473(江口) ・古文書を読む会 784-4900(真田) ・浮雲俳句会 783-0278(太田)
- ・ふれあいの道歩こう会 790-0128(柴崎)
- ・懐かしの映画を観る会 080-5172-6151(鶴岡)
- ・寺社を巡る会 090-1840-0916(横山)
- ・パソコンを使いこなす会 090-7565-9587(熊谷)

編集後記		発	行	В	2023年5月14日
漸くコロナ禍が収束しつつあります、しかしこんなにも収束が長引くと    ませんでした。		発	行	月	年4回発行(2、5、8、11月)
	ませんでした。振り返れば横浜港にダイヤモンドプリンセス号が停泊してから - でした。あの時各国の海外特派員が船をバックに「・・・横浜からでした」と		行	者	金沢区生涯学習"わ"の会
自国に報道していました。思わぬ形で横浜が全世界に知れ渡りました。		編	集長		鶴岡 重典
-連のコロナ禍で日本経済の損失はいかほどになるのでしょうか。補填	の為に				
赤字国債を大量に発行するのでしょう、若い人達には更に負担を押し付	ナて				安藤 正夫 田野実 裕之
しまうことになりそうです。経済といえば金沢文庫駅のアピタにノジマ	電気が				佐藤 和弘 松﨑 寛
出店しました、ノジマは本社は横浜だそうです。それならば地域活性に	もなり	編	集委	員	熊谷 信雄 橘 博章
ます。ちなみにノジマ電気の社長さんは野島さんだそうです。					斧原 良一 星野 六夫
ますます地域とつながりがあるような。 佐藤科	広				